

すくすくみどり

財団法人札幌市公園緑化協会設立20周年記念
園芸講習会より

No.17

「札幌だから！魅力発見」

ユリの魅力と栽培管理



ライラックの魅力と栽培管理



バラの魅力と栽培管理



はじめての家庭菜園

財団法人 札幌市公園緑化協会



はじめに

当財団が管理運営する公園では、札幌の環境に適する植物の栽培管理と、「ここでしか見ることのできない」景観の形成を心がけ、展示会、講習会、観察会、体験実習などを企画して、札幌の「緑」をレベルアップさせるべく、情報の発信を行ってまいりました。

このような中、財団設立から20年の節目を迎えるにあたり、これまで培ってきました植物栽培の技術・知識を市民のみなさまにお伝えすることで、身近な「緑」から札幌の「緑」をご一緒に考え、また、植物栽培の楽しみ方を通して札幌の魅力を再発見していただこうと、平成16年10月、財団設立20周年園芸講習会「札幌だから!魅力再発見」を、各公園の職員が講師を務め、4回開催いたしました。

各日とも定員いっぱいのご参加をいただき、盛況のうちに開催することができました。

札幌は、一見、寒い冬の問題などから、園芸にとって不利であるかのように思われがちですが、札幌の気候・風土だからこそ優位に栽培できることを知っていただこうと、第1回の「ユリの魅力と栽培管理」ではユリを家庭で栽培する上でのポイントを、第2回の「ライラックの魅力と栽培管理」ではこれまであまり知られていなかったライラックの紹介と魅力を、第3回の「はじめての家庭菜園」では自分で栽培するポイントについて、第4回の「バラの魅力と栽培管理」ではやさしく楽しい栽培ポイントなどについて紹介いたしました。

このすくすくみどりNo.17では、当日の講習内容をまとめました。

講習会に参加された方におかれては、当日聞き逃した部分あるいはメモを取れなかった箇所を再度見直していただける詳細な資料として、また、参加できなかった方にも十分講習会の内容がご理解いただけるとともに、植物栽培の手引書としても活用いただけるものと思います。

なお、この冊子の発行は、札幌市都市緑化基金の事業の一環として行っております。

私たちの街札幌を緑豊かな魅力ある街にするため、札幌市都市緑化基金の募金にご協力をお願いします。

目次

■ 第38回緑の絵コンクール大賞作品	3
■ 第16回緑と花のフォトコンテストグランプリ作品	4
■ ユリの魅力と栽培管理	6
1. はじめに	6
2. ユリの分布	6
3. ユリの収集と栽培	7
4. ユリの多様性	7
5. 世界各地のユリの紹介	9
6. ハイブリッド(交雑園芸品種)	16
7. ユリの生活	19
8. 実生法と栄養繁殖	22
9. ユリの栽培方法	23
10. ユリの病気	26
11. たった一つのユリ	28
■ ライラックの魅力と栽培管理	29
1. はじめに	29
2. ライラックの分布	30
3. 花の色分け	31
4. ライラックの品種改良	32
5. ライラックの剪定	37
6. 良い苗木の選び方	37
7. 鉢植えて楽しめるライラック	38
■ はじめての家庭菜園	39
1. 家庭菜園はまず「土づくり」から	39
2. 家庭菜園を始める際のポイント	39
3. 無農薬・有機栽培とは？	39
4. 有機栽培で育てるコツ	39
5. 肥料について	40
6. 肥料の施し方	40
7. 言葉の説明	41
8. 種まきと種の選び方	41
9. 苗の植え方	41
10. 容器栽培(プランター栽培)のポイント	42
11. 各種野菜の作り方	42
■ バラの魅力と栽培管理	50
1. はじめに	50
2. 原種から現代のバラまでの系譜	50
3. 現在の園芸品種の基になった原種	52
4. バラの系統	53
5. 系統による耐寒性の違い	55
6. 札幌に適するバラの系統	56
7. バラの栽培管理	58
■ 緑の相談	68
■ 札幌市都市緑化基金	69



第38回(平成16年度)
緑の絵コンクール



大賞作品
鵜野 修至さん(札幌市立澄川西小学校 4年生)



大賞作品
宮川 駿さん(札幌市立羊丘中学校 2年生)

第38回緑の絵コンクールは小学校から55校993点、中学校から23校429点、計1,422点の応募があり、小学校の中から鵜野修至さん、中学校の中から宮川駿さんの作品を大賞作品として選考しました。

緑の絵コンクールは、毎年、札幌市内の小学生・中学生を対象として札幌市環境局みどりの推進部と財団法人札幌市公園緑化協会の共催で実施しています。



第16回(平成16年度) 緑と花のフォトコンテスト

グランプリ作品



作品名「こもれ日の中で(錫杖草)」(平岡公園) 撮影者 松井 玲子さん

【グランプリ作品審査講評】

この作品は、雑木林の中で見つけた花を撮られたものですが、薄暗い林の中に差し込んだ、こもれ日を上手に活かした作品となっています。

被写体の錫杖草ですが、この花自身非常に珍しい植物で、それを、札幌市内の公園で見つけられた事に感心いたしました。するどい観察力があってこそこの作品だと思います。

また、被写体を見つけても、作品のレベルまで高める事が非常に難しいものですが、この作品は、見事に仕上がっています。

まず、光の使い方ですが、こもれ日を上手に使い分けています。花に当たっている光と、背景に差し込んでいる光のバランスが良く、明暗のコントラストが表現されています。

構図も一番効果的に表現できるようにローアングルで撮影されています。

被写体を見つける「足」と、最高の光になるまで待った「粘り」で撮られたグランプリ作品です。おめでとうございます。

錫杖草(しゃくじょうそう) イチャクソウ科

山地の木陰や薄暗いところに見える葉緑素を持たない腐性植物で高さは20cmほど。全体が、淡黄褐色を帯び、葉が退化した鱗片状の葉を互生する。初夏、茎の先に長鐘形の淡黄白色の花を4～8個下向きにつける。名は修験者が持つ錫杖にみたてたもの。

四ツ切部門 優秀賞



作品名「休日の石山緑地」(石山緑地)
撮影者 有村 やすしさん



作品名「落日の刻」(モエ沼公園)
撮影者 山本 忠さん



作品名「僕でも撮れるよ!」(百合が原公園)
撮影者 村上 和子さん

サービスサイズ部門 優秀賞



作品名「I am…」(モエ沼公園)
撮影者 山崎 真澄さん



作品名「ラン」(百合が原公園)
撮影者 須田 美佐子さん



作品名「虎の尾(エレルム)」
(百合が原公園)
撮影者 岩間 広さん

第16回緑と花のフォトコンテストには、四ツ切部門に91名224点、サービスサイズ部門に60名217点、計151名441点の力作が寄せられました。

第17回緑と花のフォトコンテストも、札幌市内の公園や緑地での花や緑、自然とのふれあいなどをテーマとして皆様からのステキな作品、ほのぼのとした楽しい作品を募集しています。(応募締切:平成17年8月末日)



日時：平成16年10月14日(木)

場所：さっぽろテレビ塔

講師：(財)札幌市公園緑化協会 緑化植物園長 荒川 克郎

ユリの魅力と栽培管理

～あなただけのユリを栽培する楽しみ～

1 はじめに

財団が設立されてから20年経ちましたが、公園を管理する上で、財団が取り組んできた戦略について説明します。

一つ目は、それぞれの公園のテーマに応じた植物管理のプロを養成することです。市民の皆さんからの付託に十分応えられ、信頼される技術者を養成することです。今日はその吟味の間でもあるわけです。

二つ目は、植物を管理する際に農薬をなるべく使わないようにしよう。農薬の代わりに、かびやバクテリア、天敵昆虫を使って、病気や害虫の被害を和らげよう。公園を安心して利用できるようにしよう、いろんな生き物がいる公園にしようということです。これに関連しますが、公園の落ち葉や枯れ枝、枯れ草、球根などを堆肥にして、公園の土に戻すこともやっています。環境にやさしい公園管理をめざしています。

百合が原公園には、世界の百合広場というエリアがあります。1983年に、オープンしたユリを植えたエリアです。5.1ヘクタールあります。ここに世界のユリを栽培し、ユリを見ていただくというものです。

ユリが求める環境は単一ではありません。草原や、林の縁、砂漠に近い環境を求めるユリもあります。ユリの植え込みをコロニーと呼んでいますが、ユリが生育しやすい環境を選んで群をつくるようすは、オホーツクの原生花園のエゾスカシユリが知られています。そのような環境をそれぞれのユリに作って、ユリを育てようというものです。このようにしてできた風景を世界の百合広場の景観としようというものです。世界の百合広場は、雑草だらけと言われますが、公園では、雑草のことを下草と呼んでいます。下草の効果は、地温を安定させたり、地面を乾燥させない、病気の広がりを抑えるなどの働きもあります。

このような世界の百合広場の景観造りを17年間、私の仕事としてやってきました。

2 ユリの分布

世界中にユリは何種類あるかという話をしましょう。園芸植物に共通することですが、まず、原種と園芸品種という分け方があります。狭い意味で園芸品種とは、違う種類のユリを交配して作られた植物をさします。原種とは環境に適応して進化してきた野生に育つ植物です。

原種のユリは北半球だけに分布しています。約百種あると言われています。

私のカウントでは、日本にだけ分布するユリが6種、カムチャツカ半島からシベリア、沿海州、朝鮮半島、中国大陆、台湾、フィリピン、ビルマ、ヒマラヤ、インドにかけてのアジアに分布するユリが52種、ピレネー山脈からアルプス、ドイツ、ギリシア、バルカン半島、黒海沿岸、パレスチナ、カフカス山脈、バイカル湖にかけてのユーラシアに分布するユリが13種、フロリダ半島からカナダにかけての北アメリカに分布するユリが22種あります。合わせて93種あります。

百合が原公園では、このうち75種を栽培しています。

こんなにたくさんのユリを栽培しているのは、世界中で百合が原公園だけだと思います。



3

ユリの収集と栽培

原種のユリは、多くは種子から育てます。なぜ種子から育てるかということ、集めやすいからです。また、球根より輸送しやすく、貯蔵がききます。安く手に入ります。後々、増殖しやすいこともあげられます。

種子から育てると、花が咲くまでに2年から4年、場合によっては8年、公園での記録は11年目に花が咲いたユリもあります。

種子から育てると、育てている間にいろいろな情報を得られます。栽培環境を工夫したり特定したりして準備できます。

種子から育てて増殖の親を選びます。親のことを母本といいます。母本の条件は、まず種の特徴を備えていること、種子をつけられること、病気に強いこと、早く親になること、奇形でないことなどです。この母本から種子を得て、実生苗を育て、花が咲く前の年にコロニーに植え込むというのが筋書きです。

種子のやりとりを種子交換といいます。20粒程度送られてきます。うまくいくと、10球程度の花が咲きます。うまくいかないと種子を導入し直します。

長い間栽培されてきた原種ユリの場合、実生栽培は比較的容易ですが、野生で採取された種子からの実生栽培は、花を咲かせるまでに育つ割合は非常に低い。人工の環境というのは野生のユリには厳しい環境で、何代か淘汰を繰り返して、生き残ったユリが栽培に適応したユリになります。日本のユリでもこのことをひしひしと感じます。ヨーロッパのユリは、土壌の違いとか、病気に対する抵抗の違いもあって、なじませるのに時間がかかっています。

初めて種子を導入して原種を展示するのに、4年×2回、うまくいって8年から10年かかります。これを17年間繰り返して参りました。現在、世界の百合広場のコロニーでは38種の原種ユリを見ることができます。



4

ユリの多様性

ユリの形や性質の多様性について紹介します。

■ 花の向き

ユリの花というと、上向き咲きのユリを思い浮かべる方も多いと思いますが、上向き咲きのユリは少なく、およそ6種しかありません。横向き、斜め下向きが多数派です。

ユリは夏に雨が降る温帯に分布していますから、花の時期に雨に当たることがあります。子孫を残すために大事な花粉が雨に当たると流れてしまったり、かびが生えたりします。そのために、上を向かないユリが多いと思います。

オニユリは下向きに花をつけます。北海道の山に生えているクルマユリも下向きに花をつけます。ヤマユリは横向きか斜め下向きです。

■ 花のかたち

花の形も様々です。

盃形



カップ形ともいいます。エゾスカシユリなどがこの形です。上向き咲きのユリに多い形です。

手鞠形



タークスキャップ形ともいいます。下向き咲きのユリに多い形です。オニユリなどはこの形です。

漏斗形



ファネル形ともいいます。斜め下向き、横向きのユリに多い形です。ヤマユリなどがこの形です。

テッポウ形



トランペット形ともいいます。テッポウユリなどに見られます。横向き、斜め下向きに咲くユリに見られます。

■ 葉のかたち

葉の形も様々です。

草原に生えるヒメユリは葉が細長い。林の縁に生えるヤマユリは葉が広い。草原では光より、葉を冷やす必要があるので葉が細い。ちょっと日影になるようなヤマユリは、葉の温度を上げるために広い葉が必要です(境界層)。ヒメユリは日影では育たないのですが、ヤマユリは日影にも耐えて花をつけます。

■ 発芽の仕方

この生息環境の違いは種子からの発芽の方法にも影響します。ヒメユリは種子を播くとすぐにヘアピンのような1本の子葉を出し、やがて本葉を出します。ヤマユリは一冬目と一夏目を種子の中で過ごし、秋から2度目の冬にかけて、種子の外にマッチの先ほどの小さな球根を作ります。そして2回目の春に、本葉を出します。つまり今年の秋に播いた種子は、再来年の春に芽を出します。



5

世界各地のユリの紹介



日本のユリ

1 ササユリ

学名はリリウム ヤポニックム、日本のユリという名前をもつユリです。日本の固有種です。東海地方から西の本州と四国、九州の一部に自生しています。古事記にも登場するユリです。



2 ヤマユリ

日本の固有種で、関東から東北にかけて自生しています。ヤマユリやササユリは里山によく育つユリで、古くから日本人に親しまれたユリです。

日本には14種のユリが自生しています。そのうち日本にだけ自生しているユリは、スカシユリ、ヤマユリ、ササユリ、オトメユリ、ウケユリ、タモトユリの6種です。クルマユリ、エゾスカシユリ、ヒメユリ、スゲユリ、オニユリ、コオニユリ、カノコユリ、テッポウユリの8種は、近隣のアジア大陸や台湾にも自生しています。



3 タモトユリ

鹿児島県のトカラ列島口之島にだけ自生するユリです。最近は、自生状態は見られなくなったといわれています。

この写真のユリは、白老町でユリを生産されていた故土屋淳二さんから1987年にいただいた種子からの系統です。3代目です。純血化が進んでいて奇形が多く、性質も弱くなってきています。



4 カノコユリ (シマカノコユリ)

シマカノコユリです。九州に自生しています。鹿児島県甑(こしき)島は群生地として有名です。四国、台湾と中国大陆に変種が自生しています。

これまで紹介した日本のユリとカノコユリ、サクユリ、オトメユリの美しさを我がものにしたいと、つくられてきたのが、園芸品種オリエンタルハイブリッドです。

オリエンタルハイブリッドは全て日本のユリを親に持っています。カノコユリを除く、これらのユリはウィルス病にかかりやすいのが欠点です。

ウィルスに強い日本のユリをつくるのが品種改良の始まりでした。その後、花の形や、花の色、花の向きに育種の方向が変わってきました。

オリエンタルハイブリッドの親になったユリの花の特徴は、花が大きいこと、ピンク色の花を持つユリがあること、芳しい香りを持つこと、異なったユリの種類で交配して種子を得られることなどが、あげられます。

これほどまでに優れたユリが自生する場所は日本以外にはありません。「日本はユリ王国」と呼ばれている理由です。



5 スカシユリ

スカシユリ、このユリも日本固有のユリです。エゾスカシユリに近いユリです。本州の海岸に分布しています。江戸時代から盛んに品種改良されたユリで、赤や黄色、オレンジ色のスカシユリがつくられていました。

19世紀になってからはエゾスカシユリやオニユリ、ヨーロッパのブルビフェルム・クロケウムというユリなどとともに、品種改良の親として使われてきました。



6 エゾスカシユリ

北海道になじみの深いユリで、大きな観光資源でもあります。北海道の沿岸に広く分布していますが、シベリアのバイカル湖から中国東北部、沿海州、カムチャツカ半島にまで自生しています。

世界でも大きく分布を広げたユリの一つです。アジアティクハイブリッドの親として重要な位置を占めています。





アジアのユリ

7 ダヴィディ

中国に自生しているユリです。手鞠形のアジアティックハイブリッドの親になったユリです。



8 マツバユリ

中国東北部、沿海州に分布するユリです。典型的な草原性のユリですが、暑さには強いユリです。

アジアティックハイブリッドの親の中で唯一、紫がかかったピンク色の色素を持つユリです。また、このユリには白花品種もあり、白いアジアティックハイブリッドをつくり出す上で重要な役割を果たしています。このユリがなければ、ピンクや白のアジアティックハイブリッドを見ることができなかったでしょう。



9 リーガルリリー

中国の四川省に自生しているユリです。非常に丈夫なユリです。オーレリアンハイブリッドの親に使われてきたユリです。

百合が原公園では、15,000球のリーガルリリーを栽培しています。



10 ケンティフォリウム

トランペット咲きのユリの中で、最も豪華な花を付けます。中国甘粛省で採取されたユリです。わずかに二つのユリしか発見されていないのに、世界中の庭に子孫を広めたユリです。



11 キカノコユリ

カノコユリに似たオレンジ色のユリです。中国中央部に自生しています。非常に強健です。百合が原公園では1983年以来、同じ球根を植え直して栽培してきました。

リーガルリリーなどの中国のトランペット形のユリとも交配することができるので、強健性をつけるために交配の親として使われてきました。



12 タケシマユリ

韓国の鬱陵島に自生しているユリです。タケシマユリです。葉が何段かに輪生しています。花びらが肉厚です。クルマユリに近いユリです。



13 フィリッピネンセ

名前のようにフィリピンのルソン島の山岳に自生しています。花びらの形や、雌しべの先がおもしろい形をしています。



ヨーロッパのユリ

14 マドンナリリー

自生地はギリシアからバルカン半島、ヨルダン、パレスティナあたりで、地中海沿岸からヨーロッパで広く栽培されています。キリスト教では聖母マリアのユリとされています。

地中海性植物の特徴をもっていて、夏に休眠し、秋から春にかけて葉を出して球根が太ります。札幌では9月初めから、球根の若い鱗片の先の葉を大きくして生い茂り、雪解け後、茎を伸ばして、7月上旬から下旬に花をつけます。

葉枯れ病などの病気に弱く、本州のような高温多湿な夏のあるところでは、栽培がむずかしいと思われます。公園では、葉枯れ病に強い系統を選抜してきました。



15 ブルビフェルム

ブルビフェルムとは「球根を生ずる」という意味です。葉の付け根に珠芽をつけます。エゾスカシユリに似た花をつけます。

珠芽をつけない変種のクロケウムは、エゾスカシユリやスカシユリなどとともにアジアティクハイブリッドの親として使われました。

16 モナデルフム

ヨーロッパでは、簡単に栽培していますが、百合が原公園では球根の尻が腐敗する乾腐病にかかりやすく、増殖に手間取っています。現在は2世代目の母本ですから、3世代目の3～4年後には、コロニーで栽培展示できると思います。



17 マルタゴン（マルタゴンリリーアルBUM）

ヨーロッパの西端からシベリアのバイカル湖にまで自生しているユリで、世界で最も分布を広げたユリです。

種子をまいてから開花まで6～7年かかりますが、長生きするユリで、一度根を下ろすと50年以上生きるとされます。

分布が広い分、様々な変種が見つっています。花色もワインのような濃い赤色から、赤紫、ピンク、白、黄色と多様です。



北アメリカのユリ

18 カナデンセ

アメリカ、カナダの東側に自生しています。湿地に生息しています。黄色が標準的な花の色ですが、赤、オレンジ色、斑点のない品種もあります。

球根に特徴があります。



19 パルダリヌム

アメリカ西海岸のユリです。ヒョウのような模様が特徴です。北アメリカで最も大きな花をつけるユリの一つで、アメリカンハイブリッドの親としても使われてきています。

ほかの地域のユリには見られない鮮やかな赤い色は、花粉を運ぶハチドリの注目を引くためと考えられています。



20 パリー

パルリイです。アメリカ西部のアリゾナ、カリフォルニアに自生しています。北アメリカで最も美しいユリといわれています。これほど鮮やかな黄色のユリはほかにありません。漏斗型の花もアメリカではほかにありません。



21 フラデルフィクム

アメリカでは珍しい上向き咲きのユリです。ロッキー山脈の東側に広がる草原地帯プレイリーから五大湖周辺さらに東海岸にまで自生し、北アメリカでは最も分布域の広いユリの一つです。草原性のユリの特徴を持っていますが、松林の林床に生息していて「ウッドリリー」と呼ばれています。種子をまいて、花を咲かせるまでに5年ほどかかります。



22 アジアティクハイブリッド（上向き）

切り花や花壇でよく見かけるアジアティクハイブリッドのユリです。上向きの盃型。

マーレーンという名前です。蕾がたくさんあります。

**23 アジアティクハイブリッド（下向き）**

最近見かけなくなったアジアティクハイブリッドの手鞠形のユリです。アメリカなどでは新しい品種が生まれています。これはアメリカからきたラストダンス。

日本では切り花用のユリが花壇用に販売されています。花壇用のユリとは、土壌条件、気候条件に適應できること。球根が長持ちすること。病気、害虫に強いこと。茎が頑丈であること。花びらが厚いこと。たくさんの花をつけること。花の色などが条件です。花の向きは花壇の雰囲気に応じて使い分けられるべきだと思います。

ちなみに、切り花の条件は、促成栽培・抑制栽培が容易。早熟。茎が長い。花の柄が張らない。上向き咲きで梱包しやすい。花数は5～6輪。輸送中に花が傷まない。蛍光灯の下で映えるが、自己主張は許されない色などです。

**24 マルタゴンハイブリッド
（インシュリアックローズの実生）**

マルハンという園芸品種です。マルタゴンとタケシマユリ、学名リリウム ハンソニーとの雑種です。マルタゴンリリーにないオレンジ色がだせます。

また寒さにとても強い品種ですから、カナダ中部などで趣味家による、品種改良が盛んに行われています。これはインシュリアックローズの実生です。



25 アメリカンハイブリッド

アメリカのユリを交配してつくられたユリです。これはレークタホというユリです。

このほかにも、手鞠形の明るい感じのユリがたくさん作られています。



26 オーレリアンハイブリッド (天の川)

オーレリアンハイブリッドという園芸品種のグループです。

オーレリアンハイブリッドというユリは、中国のリーガルリリーなどのトランペット形のユリやキカノコユリなどを交配してつくられたユリです。

このユリは星形とかサンバースト形と呼ばれています。野生のユリにない形です。



27 オーレリアンハイブリッド
(アプリコット色のトランペットの実生)

トランペット形のオレンジ色のユリです。オーレリアンハイブリッドに含まれます。名前はありません。百合が原公園では実生群として扱っています。



28 オーレリアンハイブリッド
(ピンク色のトランペットの実生)

これもトランペット形のオーレリアンハイブリッドです。ピンクパーフェクションの血を引く実生です。



29 オリエンタルハイブリッド(カサブランカ)

カサブランカです。オリエンタルハイブリッドのユリです。全て日本のユリを親にしていますが、海外で作られたユリです。だれが、どのような交配で作ったのか謎の多いユリです。耐病性や球根の持ち、強健さを比較すると、30年に一つの名花だと思っています。



30 その他のハイブリッド (ロートホルン)

ロートホルンです。赤いアジアティクハイブリッドのユリと、テッポウユリを交配してできたユリです。北大の農学部で作られたユリです。ピンク色のテッポウユリという雰囲気があります。通常の交配方法では交配できない遠い関係にあるユリを交配してできたユリです。

現代のユリの品種改良には、このような遠い関係にあるユリを交配して、今までなかったようなユリを作り出す方向もあります。巨大輪のアジアティクハイブリッド、黄色いカサブランカや、黄色いテッポウユリ、病気に強いササユリなど、一昔前の育種家の衝動が実現しつつあります。しかしこれは、育種の行き詰まりを表すことでもあります。これらのユリから次の世代を作り出す手段は、自然にも一般の育種家にもなく、大規模な設備と高度に訓練された技術者をもつ組織に委ねられています。





7

ユリの生活

ユリを栽培するうえで、ユリの一生の生活を知っておくと便利です。

百合が原公園では、原種のユリの多くを種子から栽培しています。そうすると、今栽培しているユリが、ユリの一生のどの辺りにいて、これからどうなるかということがわかり、手当てしやすくなります。

ユリが種子から育つこととはご説明しました。地上に落ちた種子が発芽して小さな球根を作り、やがて地中のある深さに落ち着き、地際から葉を出し球根を太らせ、一定の年数がたつと茎を伸ばして花をつけます。花は種子をつけるようになります。また、球根を増やしてたくさんの茎を伸ばし、大きな群を作ります。

ユリの球根の太り方でこの生活を紹介します。

■ 発芽

種子の入っている果実、さく果といいます。下向きの花でも、果実は上を向いています。花が受精したかの判断は、花びらがしおれたあとで、子房が上を向くかどうかで判断します。

さく果の上の方が熟れてくると割れて、風に吹かれて種子が飛び散ります。地面に落ちた種子は発芽の準備をします。水分と温度が必要です。

ユリには、すぐ発芽するユリと、時間をかけて発芽するユリとがあります。すぐ発芽するユリは速発芽型のユリ、遅く発芽するユリは遅発芽型のユリといいます。

子葉を地上に伸ばして光合成を始めるユリを、地上発芽型のユリといいます。子葉を地上に伸ばさずに小さな球根を作ってから、本葉を広げて光合成を始めるユリを地下発芽型のユリといいます。この組み合わせによって、地上速発芽型、地上遅発芽型、地下速発芽型、地下遅発芽型の4つの発芽型ができます。

地上速発芽型は、ヒメユリやスカシユリ、リーガルリリーなどアジアのユリに多くみられます。

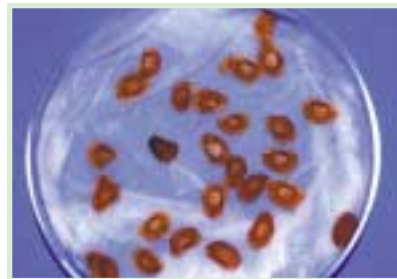
地上遅発芽は、ヨーロッパのユリに典型的です。

地下速発芽は、エゾスカシユリにみられます。

地下遅発芽はクルマユリ、マルタゴンリリーのほか日本の固有種、ヤマユリ、ササユリ、オトメユリ、カノコユリと北アメリカのユリに典型的です。この発芽型の違いは種まきにも関わる問題です。



ユリのサク果



ユリの種子



地上速発芽：本葉をだしている



地上遅発芽：子葉が出始めている



地下遅発芽：昨年12月に播いたササユリ。球根ができている(矢印)



地中に潜り込む球根：1年生のイトハユリ

牽引根（矢印）を縮め地中に潜り込む。所定の位置に近づくと、横の方に牽引根を出し球根を安定させる。

球根の中の生長点を下げて生長しているので、球根の形は細長くなっているが、やがて卵のような形に落ち着く。

■ 牽引根

地上発芽も地下発芽も、地上で発芽の準備をすることによって変わりありません。

根を地中に伸ばし、地上の球根を温度と湿度の安定した地中に引き入れる作業を始めます。最初の一年で1～2cmの深さに潜ります。このときに太くみずみずしい根を地中に差し込み、やがてその根の水気を抜いて根を縮めて球根を深く引き入れます。牽引根と呼ばれていますが、この牽引根によって、ユリが必要とする深さに球根を安定させます。球根が成熟してくると、球根を引き入れる仕事は衰えます。したがって、小さな球根を植えると、ユリは居心地のよいところまで球根をもっていくと考えてよいといえます。



トサヒメユリの2年生の実生

■ トサヒメユリの球根

これは種子を播いて、2年目のトサヒメユリの球根です。細長くなっていますが、まさに球根を潜らせている最中の状態です。このような極端な形を経るのは、イトハユリ、ヒメユリ、マツバユリなどごくわずかのユリです。いずれ卵のような形に落ち着きます。

■ ヤマユリの球根

下根があって、上根があります。上根がよく生えています。分球していません。



ヤマユリの地下の様子

■ 木子

球根から出た茎につく球根が木子です。木子は土の中にできます。この球根をそのままにしておくと大きくなって花をつけるようになります。親の球根と根を張る競争をしますが、若い球根が勝ちます。親の球根は深く潜るか、茎を別の場所に出すようになります。

いずれにしても、この状態は栽培下にあるユリにとってはよい環境ではなくなっています。

■ 分球

花をつけるようになると、ユリによっては球根の中に複数の新しい芽をつくってそれを中心にして鱗片をつくり、2年をかけて複数の独立した球根をつくります。これを分球といいます。全てのユリが毎年分球するということではなく、ヤマユリやササユリはなかなか分球しません。健康なオリエントルハイブリッドはなかなか分球しません。球根が古くなるとか、球根の病気や球根が害虫などに食べられた場合には分球しやすくなります。



2001年に植えたキカノコユリの木子

矢印1は2003年の木子。矢印2は今年の木子。母球は球根の位置を変え、娘球根を避けている。矢印3は分球。(2004年10月撮影)

■ パルダリヌムの球根

パルダリヌムというアメリカのユリの球根です。球根は丸くありません。球根は横に伸びていきます。茎から根が生えていません。下根もずいぶん長いのが特徴です。鱗片の締まりがあまりよくありません。



パルダリヌムの球根

■ カナデンセの球根

ユリの球根とは思えない球根です。このように茎を伸ばして広がり、独立していきます。

鱗片がはずれやすく、下根が長いのが特徴です。



カナデンセの球根



8

実生法と栄養繁殖

～ユリの増やし方～

種子によって増やす方法と、種子によらない方法とがあります。

種子から育てる方法は、原種ユリや品種改良、新しいユリを作る場合に利用できます。原種ユリは、ひとつのユリが違った遺伝子を持っていますから、同じ種のユリであっても、花の色の濃淡や大きさ、花の咲く時期のずれ、背丈の違いを楽しめます。

一方、園芸品種は、その子供が必ずしも、親と同じ姿形をもっているとは限りません。親と全く同じユリを増やす場合には、栄養繁殖という種子によらない方法を使います。

■ 播種

種まきから始めたいと思います。種子を播く時期はいつでもよいのですが、秋、寒くなってからか、春が無難です。

秋に集めたユリの種子は、さく果に入ったまま、種類ごとに陰干します。種子が乾いたら、紙袋に名前を書いて冷蔵庫で保存します。種子は寒さに当てたほうがよいでしょう。

5号(直径15cm)以上の駄温鉢を使います。20粒くらいの種子が播けます。大きい方が水管理が楽です。

バーミキュライトは未使用のものを使います。

殺菌剤で種子をまぶします。立ち枯れ病という苗に特有の病気を予防するためです。子葉や一番目の本葉が、地際から青いまま枯れる病気で、菌糸が子葉の中に入り込んでいるので病気がでてからでは手の施しようがありません。種子の中から根がでるときに、種子の皮にとりついた病菌の胞子から感染するといわれています。百合が原公園では、殺菌剤を使わずに微生物資材を使っています。

バーミキュライトを7分目の深さにいれて均しておきます。名札を挿します。

そして均一に種子を用土の上に並べます。並べ終わったら、バーミキュライトを厚さ1cmの厚さでかけます。そしてたっぷりと水を与えます。

芽が見えるまでは、水を切らさないようにします。

多少、過湿気味でもかまいません。

早いユリで20日ほどで芽が見えてきます。遅いユリでは1年半から2年半かかります。



地下遅発芽ユリの袋播き

■ 地下遅発芽の袋播き

発芽の遅い地下発芽のユリ、発芽に1年半も2年半もかかるユリでは、毎日の水やりや除草、コケも生えてきて管理が大変です。その様なユリの場合は、袋播きをします。

■ 分球法

もっとも一般的な栄養繁殖は分球による方法です。分球では、親と同じ大きさの球根を使いますから、翌年には花を見ることができます。しかし、一度にたくさんの球根を得ることはできません。



オニユリの珠芽 栽培1年生

■ 木子・珠芽

分球を得られないユリでは、木子や珠芽を栽培する方法があります。
2年ほどで花を見られます。

■ 鱗片

分球も木子も、珠芽も得られない場合は、鱗片を使います。
健康なユリの球根を用意します。パーミキュライトと育苗バットか駄温鉢、そして殺菌剤を用意します。

球根の一番外側の鱗片は捨てます。鱗片をひとつ一つばらします。中の方の鱗片は未熟なので使いません。柔らかいのでわかります。

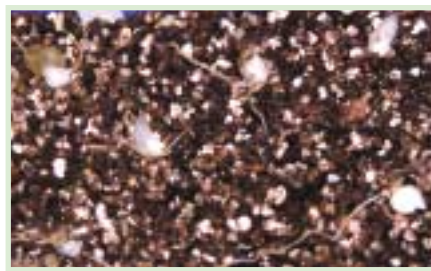
鱗片を1000倍から2000倍に薄めた殺菌剤水溶液に15分程度浸けます。

育苗バットに、8分目ほどパーミキュライトを敷き均します。

浸けてあった鱗片の先を上にして挿します。先がちょっと見えるくらい挿し込みます。3～5cm間隔で挿し込みます。終わったら、1cmの厚さで、パーミキュライトをかぶせます。

じょうろでサッと水をかけて表面を安定させます。名札を挿しておきます。翌日、朝のうちに底から水が出てくるまでたっぷりと水をやります。水やりを翌日に回すのは、鱗片の口を乾かして病菌が傷口から入り込むのを防ぐためです。おまじないかもしれません。

ひと月ほどで鱗片の口の近くに小さな球根ができます。本葉が2枚程度になった秋に栄養のある用土に植え替えます。3～4年で花が見られると思います。



アジアティクハイブリッドの鱗片増殖1年生

9

ユリの栽培方法

～花が咲くユリの栽培方法～

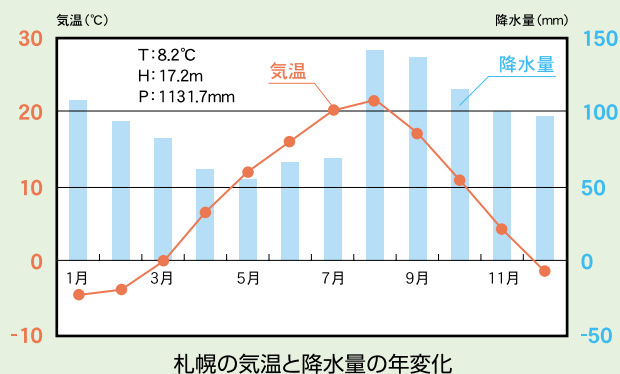
ユリは病気のデパートといわれています。病気に弱い植物だということでしょうが、ここで札幌のすばらしさが主張されなければなりません。というのは百合が原公園では、殺菌剤を極力使わずにユリを育てているからです。

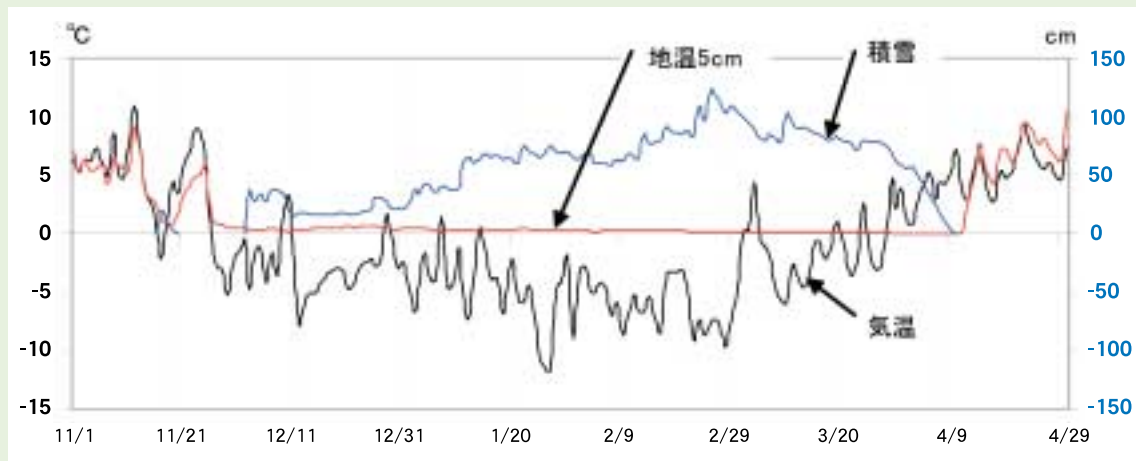
札幌の気候的特徴

このグラフは、降雨量の平年値です。

最も降雨量の大きい月は8月です。

8月、9月、10月と続いて、雪の季節がそれに続きます。最も少ないのがユリの成長期の5月です。6月、7月も少ない。成長期に湿りが少ないということは、かびが生えにくいということで、葉につくかびの発生も少ないということです。本州では、この月は梅雨の季節です。





積雪と地温の変化 北海道農業試験場の資料1999/11/1-2000/4/30による

上のグラフは、積雪と地温の関係のグラフです。雪が積もると地温が安定することが分かります。雪の下では凍らない程度の温度がずっと安定していることがわかります。ユリは安心して眠っていただけるわけです。春も雪がなくなるころには気温が高くなっていることが分かります。

本州よりも病気のことを心配する必要も少なく、害虫も冬寒く、夏涼しい分少ないのでユリを栽培しやすい環境にあると思います。

■ 植え場所

まず植え場所です。水のたまる場所は避けます。百合が原公園の標高は5 m程度です。地下水位が高いのが特徴です。盛り土をして水がたまらないようにしています。

庭の中にどうしても水がたまるのであれば盛り土をすることも排水をよくする一つの方法ですが、水たまりからは40cmほど盛らなければなりません。暗渠や溝を掘るのも良い方法です。

次に、日当たりです。葉の細いユリは日当たりのよい方がよく、葉の広いユリ、オリエンタルハイブリッドはちょっと日陰の方がよいでしょう。

しかし壁からの照り返しがないところであれば、日当たりでもかまいません。

また、風当たりの強いところは避けます。ユリは花の大きな植物ですから、あおられやすく花も傷つきやすいので風が走るところは避けます。

雨にも当てたくないなので、軒下などは避けます。ユリは、風よけ、日よけがない場合は、壁から離して植えた方がよいと思います。

■ 根の特徴と植え替え頻度

ユリを植える季節はいつでもよいのですが、根を傷めないで植えるには、秋がよいと思います。

植え替えの頻度、何年おきに植えるかですが、時間があれば、毎年植え替えることをお勧めします。百合が原公園の中央花壇は、毎年植え替えています。

その理由をお話します。ユリには球根を挟んで二つの性質の違う根があります。球根の下からでる下根と、茎からでる上根です。

上根は毎年枯れる茎からでていきますから毎年更新されます。春に茎が伸びるのにしたがって花の咲くころまで伸び続けます。一方、下根は一年中新しい根がでて、伸び続けています。2年程度生きていると思います。

したがって上根は一年草、下根は宿根草の根と同じような性質を持っていると考えられます。上根は去年の死んだ根の塊に新しい根を伸ばさざるを得ません。必要な養分も吸い尽くされた、病菌も多い土に根を伸ばさざるを得なくなります。ユリのいや地とか連作障害はこのようにして起きると思います。

植え替えしなくても、もう使われない今年の根くらいは取った方がよいと思います。秋に茎が黄くなったところに上根をわしづかみにしてひねって抜きます。球根と一緒に抜けてこなければ、腐葉土を混ぜた新しい土をかぶせて終わりですが、球根と一緒に抜けてくる場合は下根が病気などで傷んでいる証拠ですから、殺菌剤水溶液につけて別の場所に植え直します。球根の健康状態も診断できます。

時間がなければ2～3年間植えっぱなしでもかまいません。植え替えの時期の目安は、花を見た秋、花後45日以降です。



■ 下根の保護

植え替えるときは、下根を乾かさずに植え込みます。

下根は植え込まれたあとの球根の水分や栄養を補給するのに大切な器官です。マルタゴンリリーやオーレリアンハイブリッドのように上根が発達しないユリでは、翌年または2～3年の間、花つきに影響します。ユリの球根はチューリップのように乾燥に耐えられるようにはなっていません。乾かすとしなびてしまうだけです。

植え替えるときには、死んだ下根は取り除きます。中がスカスカになっている根や、茶色になっている根はつまみ取ります。ハサミは使わない方がよいです。死んだ鱗片も取ります。しかし、生きている根は大切に扱います。

■ 植え幅

植え幅は、となりのユリと葉が触れない程度が基本です。オリエンタルハイブリッドのように葉の大きなユリは、植え幅が広がります。

■ 植える深さ

植える深さは、上根が十分に広がる深さ。

球根の先を球頂といいます。球頂の位置は球根一つ半の深さがあるとよいと思います。球根の高さが4 cmなら地面から6 cmの所に球頂が来るように植え込みます。

植えるときに植える穴の中の土をほぐしますが、穴の底に球根をおく前に、手の甲で軽く押しつけて、植えたあとで球根が下がらないようにします。球根をおき、下根を広げたあと、球根のまわりに新鮮な土を入れて軽く押し固めます。そのあとで腐葉土を混ぜた土をかぶせます。その上に腐葉土を3、4 cmの厚さでかぶせます。



10

ユリの病気

ユリの主な病気としては3つの病気があります。

■ ウィルス病

全身の病気としてウィルス病があります。アブラムシが伝染するウィルス病と、ハサミについた汁や、球根がこすれあって伝染するウィルス病があります。

アブラムシは木酢や浸透移行性の殺虫剤をあらかじめ撒いて予防します。また見つけ次第、牛乳や殺虫剤を使って駆除します。

ハサミを使う時は、アルコールやライターの火で刃を消毒しながら使います。

ウィルス病は一度かかると治せない病気です。ほかのユリに伝わらないようにします。

葉がよじれたり、葉に色の濃淡、葉脈が白っぽく浮き上がる、花粉の色が変わる、花が咲いているのに葉がばらばらと落ち始める、花びらに濃淡の模様が現れるなどがウィルス病の症状です。

症状の著しいユリは球根、茎、葉、花ごと燃やせるゴミとして処分するしかありません。

■ 茎盤腐敗病

球根の病気として、乾腐病があります。球根の鱗片のついているところが茎盤です。ここが腐る病気です。フザリウムというかびに冒される病気です。

やっかいな病気です。ユリの葉が突然黄色くなって落ち始めたり、湯通ししたように灰色になったり、生長が急に悪くなったりします。球根を掘り上げてみると茎盤が黒くなっています。下根がほとんど生えていません。

土の栄養状態がよすぎる場合、言葉を換えると窒素分が多い場合とか、土が乾燥している場合、湿りすぎている場合、地温が高い場合など様々な原因が考えられます。

百合が原公園ではフザリウム菌に拮抗性があるといわれている微生物資材を床土に混ぜています。また、かかりやすいユリは、球根を新鮮な赤土でくるんで植え込んでいます。何年もユリを栽培した場所に植えない事も対策の一つです。

ユリは花をつける大きくなった球根はそれほど肥料を必要とはしませんから、窒素分の多い肥料は避けます。

捨てがたい球根であれば、殺菌剤の水溶液に浸けて新たな場所に植え込みます。

■ 葉枯れ病

葉や花の病気としてはボトリティス菌による葉枯れ病があります。

症状は白っぽい斑点が広がり葉が茶色に枯れ上がる病気です。

地面に落ちた葉や花びらで越冬し、雨水の跳ね返りで孢子が葉の裏に飛び移り、気温と湿度の上昇で繁殖します。地面を何かで被って雨水が跳ね返らないようにします。百合が原公園では下草や籾殻、堆肥などで被っています。

葉をコーティングして菌が繁殖するのを予防する方法もあります。百合が原公園では、なっとう菌の一種の芽胞を葉に撒いて住み着かせ、ボトリティス菌が繁殖するのを抑えています。殺菌剤で防除することもできます。

■ ユリの害虫

ユリの害虫としては、アブラムシのほかに、ヨトウムシ、スリップスがあげられます。

ヨトウムシは、読んで字のごとく、夜に葉や蕾を食べます。昼間も茎に張り付いてじっとしている種類もあります。見つけ次第、捕殺します。

被害がひどい場合は、蛾や蝶の幼虫だけに効果のあるトアローC Tを散布します。これもなっとう菌の一種からつくられた殺虫剤です。

スリップスは、花と球根に寄生しますが、被害が大きいのは球根に寄生するスリップスです。ユリの生長が芳しくない場合、球根をみると鱗片が変形し、透き間が空いています。長さ2、3mmの細い黒、または薄いオレンジ色の昆虫が見えます。

被害のある球根を殺虫剤の溶液に浸け込んで病気の広がりを抑えます。

球根の健康状態がよければ寄生も少ないようにも思えます。

■ ユリ栽培の適地

ササユリの自生地は本州の中部北陸地方から西側ですが、本州の平地では実生からの栽培ができないときいています。札幌ではそれほど難しい話ではありません。札幌は、ありとあらゆるユリを栽培できる環境にあると思います。



最後にとっておきのユリ栽培方法をご紹介します。

まず、花が終わっても全部の花がらを摘み取らないで、一つだけ実を付けておいてください。秋に種子ができ雪が降るまでそのままにしておいてください。種子は気ままに飛んでいって、気ままに住処を見つけます。良さそうなところがあれば手で播いてもよいと思います。

次の年からは除草の方法を少し変えます。ヘアピンのような子葉がないか目を皿にして地面を見てください。一つ見つけると目は慣れて、次から次へと見つけだせます。ハコベやスズメノカタビラなどを注意して手で抜き取ります。そのうちひと月もすると本葉が見えます。ここがこのユリの住処です。通路であれば秋まで待って、移植します。ヨトウムシに食い荒らされないように気をつけます。

除草するときにはこれはなんという植物、あれはミチヤナギと、除草する植物の名前を覚えていくと雑草の性質が覚えられます。

私は庭の地面の実生をさがしているときに除草します。実はうずくまってジーンと地面を見つめているのももったいないと思うので副業に1本1本草を抜いて除草していますといった方がよいかもしれません。結構、園芸植物の実生がはえていることがわかります。

園芸植物同士を競争させ、勝った植物をその環境に適している植物と考えてもよいかもしれません。また、植物の名前がわかり、次の時に形や性質を知っていれば、残しておく植物か、除草する植物かも分かります。ユリは残しておく植物にしましょう。

毎年、ユリの実を一つ残すことにしましょう。4年後の初夏に、見慣れない蕾を持ったユリが現れるはずです。花が咲くまで、ドキドキします。これが世界でただ一つのあなただけのユリです。しかし、多くは、くすんだ色のユリです。運が良ければ、個性的なユリかもしれません。

その次の年からは毎年、新しいユリが咲き出します。それもユリの楽しみ方です。できれば花粉親に気に入ったユリを用意すると良いと思います。

ユリが根を下ろし、花をつけるまでに至ったということは、数百の種子の中で、その環境に適したユリが生き残ったということです。どの園芸品種よりもその環境に適した強健なユリだということです。害虫には注意が必要ですが、病気の心配が少ないユリのはずです。この方法は大変安上がりですが、辛抱強さと、除草の根気が必要です。



日時：平成16年10月15日(金)

場所：さっぽろテレビ塔

講師：(財)札幌市公園緑化協会 川下公園 庵原 英郎

ライラックの魅力と栽培管理

～「札幌市の木」は札幌でこそ輝く～

1

はじめに

ライラックは北星学園のスミス女史がアメリカから携えて来たという説や、函館の宣教師が持ち込んだという説などがありますが、日本で最古といわれているライラックが北大植物園に植えられています。ライラックは昭和35年に札幌市の人口が50万人を突破した記念の行事として市民投票によって花(スズラン)、鳥(カッコウ)と共に札幌市の木に選ばれました。ライラックの歴史はここ札幌では約100年になりますが、ライラックの種類の多さやよりよい育て方等、ライラックの多くの魅力がまだ知られていません。

ライラック

(モクセイ科、ハシドイ属)

【学 名 … Syringa(シリングア)】

ラテン語のSyrinx(シュリンクス)に由来し、妖精シュリンクスが神パンによって空洞の葦に変えられ、パイプかフルートとして使われたという伝説があります。枝の髄をくり抜いて、パイプや笛が作られました。

【和 名 … ハシドイ、金衝羽(きんつくばね)】

枝を火に投じるとパチパチとはぜることからハシドイ、また、花が羽根突きの羽に似ていることから金衝羽と言われています。

【英 名 … lilac(ライラック) pipe tree(パイプツリー) blow stem(ブロウステム)】

最初の英名はパイプツリーかブロウステムで、古代ギリシャの医師が患者に薬物を注入するか、液を抜くのに使用されたと言われています。lilacは「青」を意味するペルシャ語のlilak又はlilaf、サンスクリット語のnilaなどから転じたと言われています。

【仏 名 … lila(リラ)】

シャンソンの「リラの花咲くころ」の原曲はドイツの「白いニワトコが再び咲く時」だったのですが、フランスにわたりリラになったようです。これが日本ではスミレになり、あの有名な歌劇団のテーマ曲になったのだそうです。ちなみにニワトコも枝の髄をくり抜いて、火を起こすのに用いられたことから、パイプツリーとも呼ばれています。

【中国名 … 丁香(チョウコウ)】

花がフトモモ科の丁香・丁字(クローブ)に似ていることから言われています。



2

ライラックの分布

ライラックの野生種は南東のヨーロッパから東アジアにかけて約30種類が分布しています。ライラックといえばヨーロッパをイメージする人が多いようですが、ヨーロッパに自生しているのはムラサキハシドイとハンガリーハシドイの2種類だけです。残りのほとんどが中国、朝鮮半島、日本等の東アジアに分布していて、その大半は中国に集中しています。札幌市内で一般的に目にするライラックは南東ヨーロッパ原産のムラサキハシドイです。英名をコモンライラックといい、普通のライラックという意味で最も一般的な種類です。あまり知られていない東アジア原産の種類は遅咲きのものが多く、ムラサキハシドイの花と入れ替わりで咲き始め、花が下垂するシセンハシドイや樹高1m程の小型のメイヤーライラック、逆にジャパニーズ ツリー ライラックと呼ばれている日本の固有種のハシドイは、7～8mにもなる大型のライラックです。花の形、香りや樹形等それぞれにとってもユニークな特徴を持っています。



ムラサキハシドイ
(南東ヨーロッパ)



コマロフハシドイ
(中国)



ヒマラヤハシドイ
(ヒマラヤ・アフガニスタン)



ウォルフィーライラック
(中国)



シセンハシドイ
(中国)



ユンナンハシドイ
(中国)



メイヤーライラック
(中国)



チョウセンハシドイ
(朝鮮半島)



ハシドイ
(日本)



3

花の色分け

国際ライラック協会によって、この7色に区分されています。しかし、花の色は微妙に混じり合っています。土壌やその年の気候、また、咲き始めから咲き終わりにかけて、色合いが徐々に変化していきますので実際に色を判断するのは困難です。しかし、そのどれもがとても魅力的ですので、花房を手にとって、一輪一輪の色合いと香りを楽しんでください。

Ⅱ ヴァイオレット系



Ⅳ ライラック系



Ⅵ マゼンタ系



Ⅰ ホワイト系



Ⅲ ブルー系



Ⅴ ピンク系



Ⅶ パープル系



ライラックは16世紀頃からフランスで栽培されるようになりました。18世紀に入り品種改良が行われるようになり、19世紀後半から盛んになりました。特に、フランスのナンシー市のルモアン一家は親子3代に渡り214品種以上もの新しいライラックを作り出し、その後のライラックの品種改良にとっても大きな影響を与えました。現在では、アメリカ、カナダ、ロシア等の世界各地で栽培、品種改良が行われています。本部をカナダに置く国際ライラック協会がライラックの品種の登録管理を行っており、現在約2,000品種ものライラックが登録されています。

フレンチライラック

【学名 *Syringa vulgaris*】 【和名 ムラサキハシドイ】 【英名 コモンライラック】

もっとも一般的な種で品種改良もとても盛んに行われています。フランスで改良が盛んになりフレンチライラックまたはフレンチハイブリッドと呼ばれるようになりました。



アズレア プレナ

1843年にベルギーのリバート・ダリモンによって導入された八重咲きで薄いブルーのとても小さな花です。リバートの庭でこぼれ種によって偶然生みだされました。この八重咲きのライラックがフランスのナンシー市のヴィクトール・ルモアンの手に渡し、八重咲きという新しい系統を作り出す親として、交配に使われました。



エミル ルモアン



プレジデント グレヴィ



ミシェル パークナー

ヴィクトール・ルモアンによって作出された、‘アズレア プレナ’の血統のライラックでブルー系の八重



クラサヴィトゥサ モスクヴィ



ベル デュ ナンシー

ロシアのレオニド・A・コレスニコフの導入で最も素晴らしいとされている‘クラサヴィトゥサ モスクヴィ’は蕾の状態ではピンク色で開くと白く、とても完成度の高い八重咲きです。ルモアンが作出した‘ベル デュ ナンシー’が片親になっています。



センセーション



プリムローズ



同じ枝から異なった花が咲いています。

オランダのグリッド・マースはクリスマス用のライラックの切り花を促成栽培する際に発生する突然変異によって多くの卓越したライラックを導入しました。切り花の栽培時、屋外から根のついた株を温室に取り込み、芽吹きのために40℃もの高温と高湿度を与えます。通常では考えられない環境におかれるため、遺伝子が異常を起こし、ある枝だけ突然変異を起こすことがあります。マースはこの枝を挿し木等によって増殖し園芸品種として導入しました。‘センセーション’は紫色の花に白い縁取りの入る、ライラックでは唯一の覆輪の品種です。‘プリムローズ’は黄色味を帯びた花で、ライラックには無い黄花を作り出すためにとても重要とされています。これらの突然変異によって導入された園芸品種は花の色などの特徴が安定していません。



ロチェスター

ライラックは普通、花が4つ裂けていますが、たまに、5つ裂けているものがあり、ラッキーライラックと呼ばれています。この花を人知れず飲み込むと相手が一生心変わりしないと言われています。この‘ロチェスター’はアメリカのロチェスター市の公園でアルバン・グラントによって白色の八重咲きの‘エディット カヴェル’の実生苗から作り出された品種で、多くの花が5つ以上に裂け、肉厚の花弁で画期的なライラックとして多くの品種改良で使われています。挿し木による増殖が難しく、生長が遅く、老化が早い品種で一般的ではありません。



デュワイト D.アイゼンハワー

‘ロチェスター’を片親に持つブルー系のライラックで花が5つ以上に裂けます。



スイートハート

蕾の色が濃いマゼンタ色で開くと薄い色で、人気の品種です。



アーク マッカーン

マゼンタ色の花は直径が3cmにもなる大輪です。

ヒアシンシフローライラック

【学名 *S. × hyacinthiflora* cv. (*S. vulgaris* × *S. oblata*)】

フレンチライラックと中国産のオニハシドイを掛け合わせて作られたボリュームのある花つきのよい品種群です。片親のオニハシドイの特徴を受け継ぎ秋に紅葉する品種もあります。耐寒性が弱く、札幌での栽培に向かない品種もあります。



アズレア プレナ



オニハシドイ

ヴィクトール・ルモアンは1876年にフレンチライラック ‘アズレア プレナ’ とオニハシドイの掛け合わせ ‘ハイブリッド ヒアシンシフローラ プレナ’ を導入し、その後、多くのこの品種群を作り出しました。

カナダのフランク・レイス・スキナーはフレンチライラックとオニハシドイ ‘ギラルディ’ との掛け合わせにより多くの品種を作り出し、アメリカンハイブリッドと呼ばれています。



メイデューズ ブラシュ

スキナーが1966年に最後に導入したライラックでピンク色の一重。その年の天候によって、花の色が変化します。



ボカホンタス

紫色の一重の花で、秋に葉が濃い紫色に紅葉します。スキナー (1935年)



ザ ブライド

花の筒が長く、大輪で花つきのよい品種です。比較的小型です。スキナー (1961年)



アナベル

ピンク色の八重咲きで、非常にボリュームがあり、もっとも早く咲く品種の一つです。ロイ・フランク・ホーキンス (1948年)

プレストンライラック

【学名 *S. × prestoniae* cv. (*S. villosa* × *S. reflexa*)】

カナダのプレストン女史が中国産の遅咲き種の掛け合わせにより作り出した品種群でプレストンライラックと呼ばれています。長い花筒を持ち、花つきが良く、花房が直立するものから下垂するものまで変化に富みます。耐寒性が強く札幌での栽培に向いた品種群です。



ウスゲシナハシドイ



シセンハシドイ



エセル M.ウェブスター

花弁の外側が薄ピンク色で内側は白味を帯びたピンク色です。
イザベル プレストン 1951年作出



ゴブラナ

花筒が非常に長く、ピンク色の花で、花弁が外側に反り返ります。
ウラディスロウ プガラ (ポーランド) 作出



エステルカ

薄いピンク色で全体的に下向きに花を咲かせます。
ウラディスロウ プガラ (ポーランド) 作出



ナイク

独特の紫色の花をつけ、小型の品種ですが、樹形が暴れます。
ウラディスロウ プガラ (ポーランド) 作出

チャイニーズライラック

【学名 *S. × chinensis* cv. (*S. × persica* × *S. vulgaris*) 和名 コバノハシドイ】

フランス人の学者が中国の原種と勘違いをして名付けてしまいました。実際にはペルシャハシドイとムラサキハシドイの掛け合わせで、花つきが良く、枝が細く株立ちになる種類です。



アルバ



スージアナ



スージアナの寄せ植え

ヨシフレクサライラック

【学名 *S. × josiflexa* cv. (*S. josikaea* × *S. reflexa*)】

ハンガリーハシドイとシセンハシドイの掛け合わせで、花つきの良い変化に富んだ品種群です。



アグネス スミス



レッド ワイン



ジェームス マクファーレン

トリブリダライラック

【学名 *S. × tribrida* cv.】

3つの種を掛け合わせたライラックをトリブリダライラックと言います。



ミス カナダ



メヌエット



ラーク ソング

その他のライラック

ここに紹介しているライラックはほんの一部です。他にも多くの変化に富んだライラックがあります。



メイヤーライラック
パリピン



ジュリアンライラック
ジョージ イーストマン



チョウセンハシドイ
ミス キム

5

ライラックの剪定

ライラックは5 mにも育つ植物で、大きくしてしまうと、せっかく咲いた花や香りを間近で楽しむ事が出来ません。また、10年以上たった古い幹は老化し花つきが悪くなり、花の大きさが半分くらいになってしまいます。剪定によってライラックの株を常に若い状態に保つことが、栽培のポイントになります。ライラックの特徴として、地面からひこばえを出す性質があります。このひこばえは地面をつたって隣の家の敷地に入り込んだり、また、太い幹に養分が行かなくなるなど言って抜いてしまっている事が結構あります。しかし、このひこばえを育てて、老化した幹を地際から切り倒し、更新することで常に若い状態を保つことができます。

- 1** ひこばえを8～10本ほど大きさの違うものを育てておきます。

※ひこばえは必要な分だけ残し、切り取ってください。

- 2** ひこばえに日光が当たるように、陰を作る枝を剪定してやります。

※日光が当たらないと、ひこばえが斜めに伸びてしまい樹形がくずれます。

- 3** 幹が手首くらいの太さ(約10年)になったら、地面のすれすれから切り倒します。



6

良い苗木の選び方

ライラックは自身の根で育てることが良く、イボタ等に接ぎ木をした株はライラック本来の特性が出ません。また、老化が早く、ひこばえが出ないため更新ができませんので、寿命が短くなります。したがって、挿し木などの自根苗を入手するのが望ましいのですが、流通しているライラックの多くは接ぎ木苗です。これは、種類によって挿し木による増殖が難しいのと、挿し木苗に比べると最初の3年程は接ぎ木苗の方が生育が良く、早く成長するためです。接ぎ木苗を入手した場合は、下記のように自根の発生を促します。また、ライラックが弱りますので、台木から芽が吹いてきたらすぐに取りってください。



入手時



接ぎ木テープを外します。



接ぎ木部を5cm程土に埋めます。





7

鉢植えで楽しめるライラック

ライラックには鉢植えで毎年花を楽しめる種類があり、庭などの広いスペースがなくてもマンションのバルコニーなどで育てることができます。また、200品種1700本を植栽したライラック園を持つ白石区の川下公園では毎年2月頃にライラックの鉢植え栽培の提案として、ライラック小鉢展を開催しています。

鉢植え栽培に向くライラック



メイヤーライラック
パリピン



路地植え後10年経過 樹高1m



コバノハシドイ
スージアナ

花つきの良いライラックで鉢植えでも毎年たくさんの香りの良い花楽しむことができます。路地に植えても1m程度にしかならない小型のライラックで、秋に紅葉します。挿し木で簡単に増やせます。

枝が細く良く枝分かれし、非常に花つきの良い品種です。



トリプタライラック
ミス カナダ

比較的小型の品種で、花つきが良く、独特の花色が人気です。



ラキニアタ × トネリコバハシドイ

サンショに似た葉をもち、小型で鉢植えでの栽培に向きます。



ヒアシンシフローラライラック
ボカホンタス

比較的花つきの良い品種で、秋に紅葉が楽しめます。

川下公園 『ライラック小鉢展』の様子



川下公園では、例年2月下旬から3月上旬に鉢植えのライラックを一足早く開花させて、展示・販売を行なっています。

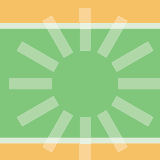


日時：平成16年10月21日(木)

場所：さっぽろテレビ塔

講師：(財)札幌市公園緑化協会 サッポロさとらんど 後藤 司

はじめての家庭菜園



～野菜づくりの基本と容器栽培のポイント～

1

家庭菜園はまず「土づくり」から

作物を健康に育てるためには、まず土をつくることから始めなければなりません。それには土を30cm位の深さによく耕すこと(耕耘)が大切です。耕耘は土を軟らかくし、土の中に十分な空気を含ませるとともに、水分を保つためにも役立ちます。

しかし、一度耕しても雨にうたれたり、踏みつけたりしているうちに土はだんだん固くなってしまいます。土を軟らかく保つためには畑全体に堆肥を施し耕すことがもっとも良い方法です。

2

家庭菜園を始める際のポイント

● 記録を付ける

種や苗をいつ植えたか、いつ収穫したかなどを記録しておく、もっとも良い家庭菜園の教科書となります。

● 同じ作物を一度にたくさん作らない

家庭で一回に食べる量はごくわずかです。少しずつ時期をずらして播くと長い間収穫できます。

● 畑の見取り図をつくる

種などを播く前に見取り図を作ります。そのときのポイントは、少量多品種を植えるようにし、通路以外は歩かないようにします。

3

無農薬・有機栽培とは？

無農薬栽培はその名の通り、栽培するときに農薬を使わないで育てた作物をいいます。有機栽培とは原則3年以上を無農薬、無化学肥料でたい肥などの有機肥料だけで生産した作物をいいます。

4

有機栽培で育てるコツ

- 病気に強い品種や健康な苗を選ぶ。
- 水はけが良い畑で作る。
- 日当たりと風通しを良くする。
- 枯葉や病葉は早めに取り除く。
- 栄養の過多と偏りを避ける。
- 同じグループ(科)の野菜を連作しない。
- 虫を寄せ付けない(寒冷紗などの使用)。
- 虫は捕殺する。
- 除草はこまめに行う。
- 土づくりをしっかり行う。

有機栽培で大事なことは、少々、の虫食いや病斑は気にしないことです。キャベツの中にアオムシが2、3匹いたり、ジャガイモの表面が黒ずんでいたとしても、取り除けば十分に食べられます。

5

肥料について

私たち人間にタンパク質やビタミンなどの栄養が必要のように、野菜にもいろいろな栄養が必要です。肥料は有機質肥料（米ヌカ、骨粉など）と化成肥料（硫安、加磷酸石灰など）に分けられ、有機質肥料は一般に効き目は遅いですが効果がながもちする特徴があり、化成肥料は効果が早いことから一度に多くあたえると、作物が肥料負けすることがあります。また、化成肥料だけでは土が荒れ固くなってきますので、堆肥や有機質肥料とあわせて施します。

作物の生育に特に必要な成分は、チッソ、リンサン、カリで「肥料の三要素」といいます。このほかにカルシウム、マグネシウム（クド）、ホウ素、鉄、マンガン、モリブデンなどがあります。

肥料を使う場合「肥料の三要素」などを混ぜ合わせた化成肥料が便利です。肥料の袋に果菜用、根菜用など表示があるのでよく読んでから購入しましょう。

「肥料の三要素」の役割

● チッソ（窒素）：N

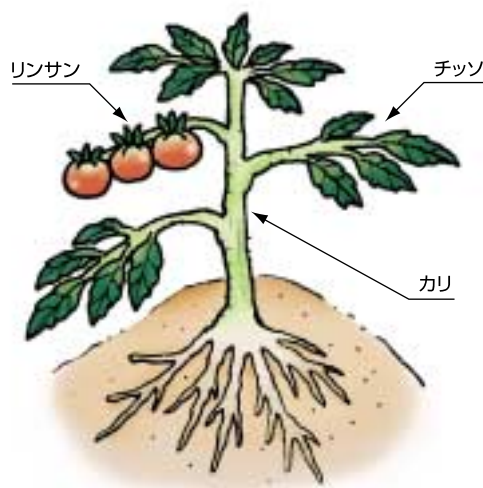
葉肥（はごえ）ともよばれ、葉を大きくし緑色を濃くします。どの野菜にも必要ですが、キャベツやホウレンソウなどの葉ものには大切な要素です。不足すると葉の色がうすくなり生育が悪くなりますが、多すぎても軟弱な生育をしたり、実ものでは果実のつきが悪くなることもあります。

● リンサン（磷酸）：P

実肥（みごえ）ともよばれ、花や果実のつきをよくしたり、野菜をじょうぶにする働きがあり、不足すると生育がおくれ、果実の味が悪くなります。

● カリ（加里）：K

茎や葉をじょうぶにし、病気や害虫に対する抵抗力をたかめ、根の発育を良くする働きがあります。



6

肥料の施し方

肥料を畑の全面にまいて土とまぜ合わせる全面施肥と、苗ものを植える穴にほどこす植え穴施肥があります。

ホレンソウやニンジンのようにすきまなく栽培する野菜には全面施肥が適しており、トマトやキュウリのように作物の間隔がはなれているものには植え穴施肥が適しています。

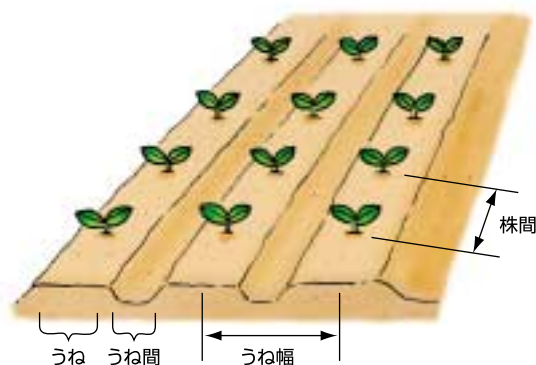
おおよその目安として、種や苗を植える1週間くらい前にたい肥や肥料をまきます。たい肥は1㎡あたり3kg前後。石灰は150～200g程度。肥料の量はどの作物を作るかによって量が違うため、基肥を少なめ（1㎡あたり50～100g程度）にして、生育を見ながら追肥するのが無難です。また、同じ作物を何年も栽培していると、前年の肥料分が残っていることが多く、そういった畑では作物の茎葉ばかりが茂ってしまい、実が大きくなりなくなります。

この場合は思い切って肥料はやらないなどの処置が必要です。

7

言葉の説明

- うね 種をまいたり、苗を植える列
- うね幅(うねはば) うねとうねの幅
- うね間(うねま) うねとうねの間
- 株間(かぶま) ひとつのうねの株と株の間
- 基肥(もとひ) 種をまいたり苗を植える前に施す肥料
- 追肥(ついひ) 生育途中で施す肥料



8

種まきと種の選び方

野菜の中には直接畑に種をまいた方が良いものと、苗を買って植えた方が良いものがあります。

また、種を買う場合は通常袋詰めになっており、中身がよくわからないので、お店で相談し、購入するのが良いでしょう。

種をまいたあと土をかけ軽く手でおさえます。かける土は種の直径の2～3倍の厚さが適当です。しかし、種類によっては土かけが厚いと発芽しないものがありますので注意が必要です。

種のまき方



すじまき

一定の間に浅いみぞをつけそのみぞにまく



点まき

一定の間に数粒ずつおいて軽くおさこむ

9

苗の植え方

1) 苗の選び方

苗を購入する場合も種と同様に種苗店などで相談し、購入するほうが良いでしょう。

良い苗を見分けるには次のことに注意して下さい。

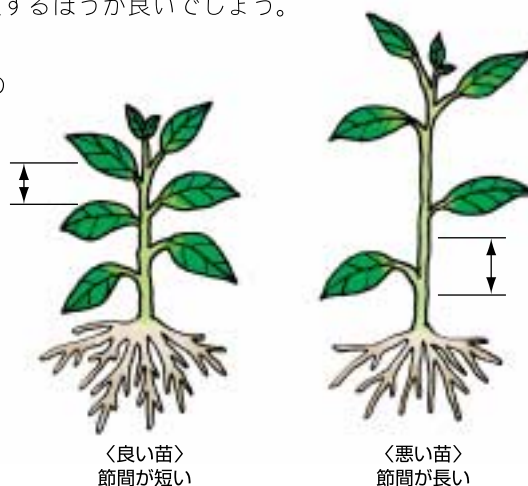
- 茎が太くがっしりしているもの
- 葉は大きく厚いもの
- 節間のつまって短いもの
- 根の張りの良いもの

良い苗と不良苗

※背丈が高いものが良い苗とは限りません。

2) 植え方の注意

- 根についている土をできるだけ落とさないこと。
- 植えるまで根を乾燥させないこと。
- 極端な浅植え、深植えにしないこと。
- 苗の周囲の土を強くおさえないこと。





10 容器栽培（プランター栽培）のポイント

プランターは持ち運びが簡単で、天候や日当たりに応じて場所などを調整することができます。生育期間の短い野菜（二十日ダイコン、コマツナ、水菜、コカブ等）やハーブ類のスイートバジル、シソ、パセリなどは簡単に栽培することができます。

容器で栽培する場合の注意点は以下のとおりです。

- ① 畑と比べると乾燥しやすいので、こまめな灌水が必要です。
- ② マンションなどのベランダで栽培する場合は風で倒れないように注意する必要があります。
- ③ 風通しをよくするために、プランターの下にブロックを敷いたり、階段状の台を設置します。



11 各種野菜の作り方

ここでの化成肥料の施肥量は「化成肥料（10：10：10）」を使用した場合です。購入する肥料によって量を調整しましょう。

1 エダマメ（マメ科）

ビールのつまみとして人気のあるエダマメは野菜の一つとして扱われていますが、植物名は大豆です。北海道は大豆の産地であることから分かるように、エダマメも北海道で作りやすい野菜の一つです。

■ 畑の準備

1㎡当たり苦土石灰を150g、化成肥料50gを全面施肥し、よく耕します。

■ 種まき

時期は早生、中生種では5月中旬～下旬、晩生種は5月下旬～6月上旬です。うね幅60cm、株間20cmで、1カ所に3粒ずつ点まきします。

■ 管理

10cmくらいの草丈に育ったところ間引いて2本仕立てとし、本葉4～5枚のころに根元に土寄せを行い倒れにくくします。

■ 収穫

収穫は早生、中生種で8月中旬～下旬、晩生種で9月上旬～11月中旬ころです。サヤが緑色で、粒が適当な大きさになった時に株ごと抜き取り、サヤをもぎ取るように収穫します。
サヤが黄色になると粒が硬くなり甘みも少なくなります。

2 キャベツ（アブラナ科）

生で食べる葉もの野菜といえば、欧米ではレタスが主ですが日本ではキャベツが最も多く使われています。また、煮物、漬物としても広く利用される重要な野菜の一つです。

■ 畑の準備

1㎡当たり苦土石灰を100～150g、化成肥料200gを全面施肥し、よく耕します。

■ 植 え 方

うね幅60cm、株間45cmとします。深植えは病害虫が発生しやすくなり、浅すぎると株元がぐらついてしまいます。葉のつけ根が土にうまらない程度に植えます。

■ 管 理

定植後葉が混み合わないうちに、1㎡当たり50gの化成肥料をうね間に追肥します。アオムシがつきやすいので注意しましょう。

■ 収 穫

球を押さえてみて硬くしまったものから順に収穫します。取りおけると球が割れるので注意してください。



※手でおさえて、たおすようにし、株もとへ包丁を入れて切る。

③ キュウリ (ウリ科)

キュウリは、主に生食用、漬け物用として、年中店頭に並んでいますが、その6割は、ビニールハウスなどの施設で栽培されています。キュウリは果実の生長が早く、収穫期間が長いので家庭菜園向けの野菜といえます。

■ 畑の準備

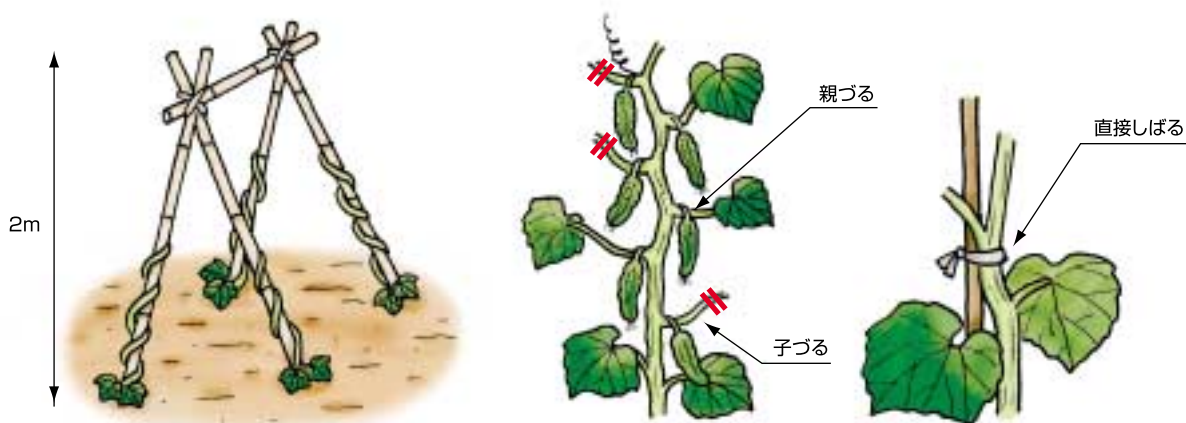
1㎡当たり苦土石灰を150g、化成肥料200gを全面施肥し、よく耕します。

■ 植 え 方

時期は6月上旬～中旬です。うね幅90cm、株間50cmとします。支柱も同時に立てます。

■ 管 理

支柱にはなるべく長い物をしっかりと立てます。親づるは先端が垂れ下がらないうちに、つぎつぎとひもで結んでいきます。整枝は高さが1.6～1.8m位になったら先端をつみ取ります。子づるや、孫づるは2葉を残してつみ取ります。植え付け後2週間から月に2回程度、1株あたり化成肥料を40g追肥します。



■ 収 穫

花が咲いてから10日くらいで収穫できます。果実は15～20cm前後の長さで収穫しましょう。

また、大きくしすぎると株が弱り、成りが悪くなるので早めに収穫するほうが全体としての収量は多くなります。

4 ジャがいも（ナス科）

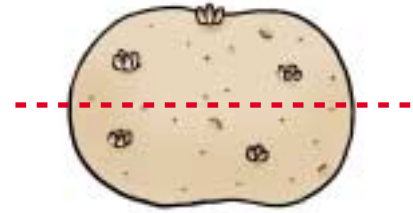
じゃがいもは北海道の特産野菜の一つで、北海道ではどこでも栽培ができます。市民農園でも人気のある作物です。わりと手間がかからず、簡単に栽培できますのでぜひ作ってみてください。

■ 畑の準備

1㎡当たり苦土石灰を200g、化成肥料150gを全面施肥し、よく耕します。

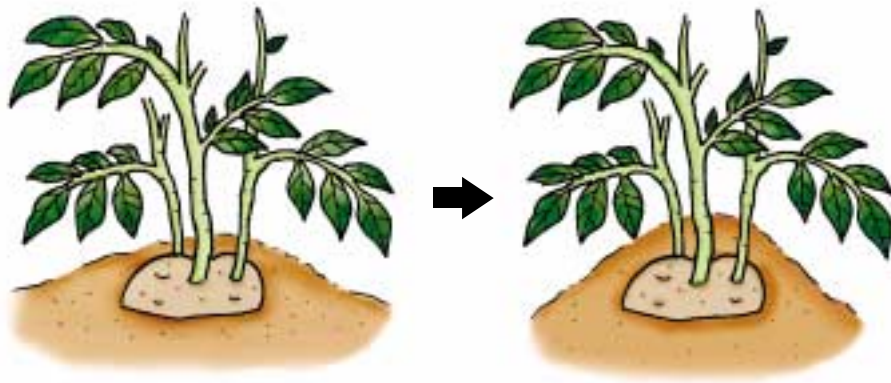
■ 植 え 方

種いもが大きい場合は芽を数個残し1個を縦長に40g程度の大きさに切ります。うね幅75cm、株間30cmとし芽を上にして土を5～6cm程度かけます。



■ 管 理

1ヵ月後くらいに、うね間の土を浅く耕し、大きくなっていくいもが日光に当たらないように土寄せします。



■ 収 穫

収穫は地上部が枯れ始めたころの、なるべく天気の良い日を選び、土が乾燥している時に行います（いもに土がつきづらくなります）。畑で2～3時間程度乾燥させてから貯蔵します。

また、花が咲いているころ（7月中旬）からさぐり掘りして新じゃがの味を楽しむこともできます。

5 大根（アブラナ科）

生でよし、煮てよし、漬けてよし。根も葉も栄養たっぷり。わが国で作付面積、生産量ともに第1位の野菜です。全国各地で栽培できます。

■ 畑の準備

1㎡当たり苦土石灰を100g、化成肥料150gを全面施肥します。

大根は地中深く入るため、深く耕さなければなりません。そのため昔から「大根百耕」ともいわれます。

■ 植 え 方

時期は夏どりで5月下旬、秋どりで8月上旬です。うね幅60cm、株間30cmで1カ所に2～3粒ずつ点まきし、やや厚め（1cm～1.5cm）に土をかけます。水はけの悪い粘土質の畑では、うねを20cm以上の高さに盛り上げてつくった方が良いでしょう。

■ 管 理

本葉1枚に育ったころ3本に間引き、本葉3～4枚の頃、がっちりしたものを選んで1本にします。また、除草も間引きに合わせて行います。

■ 収 穫

夏どり栽培は種まきから50～60日で収穫します。秋どり栽培は種まきから60～80日で収穫します。収穫が遅れると「す」が入ってしまいます。葉のつけねを切ってみて、断面に「す」が入っているなら根にも「す」が入っています。



6 ねぎ (ユリ科)

ねぎは、暑さにも寒さにも強いので、全国的に栽培されていますが暖かい地方では葉ねぎ、寒い地方では根深ねぎが多くつくられています。

わが国では古くから使われた野菜で、めん類の葉味、鍋物、みそ汁など日本料理になくてはならない野菜です。

■ 畑の準備

1㎡当たり苦土石灰を150g、化成肥料15gを全面施肥し、よく耕します。

■ 植 え 方

時期は6月下旬です。苗は太くて大きく、根の本数の多いものを選びます。

苗が大きすぎる時は葉を3分の1程度切り落とします。初期の生育はやや遅れますが、植える作業が楽になり苗は倒れません。

うね幅90cm、30cm程度の深い植え溝をほり、白根になる部分が曲がらないように、5cm間隔に溝の片側に沿って直ちに1本ずつ(小苗は2本ずつ)ならべ、浅く土をかけ(4～5cm)ます。

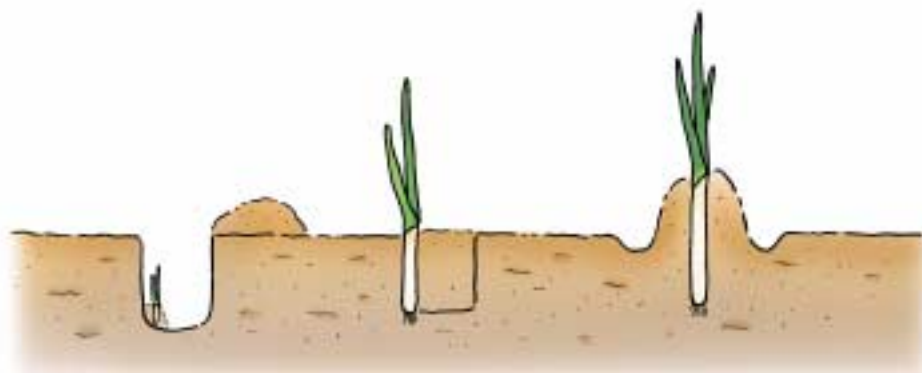
■ 管 理

土寄せは生育と平行して3回に分けて行います。

1回目は、約30日後に軽く植え溝をくずす程度にします。2回目はさらに30～40日後に行います。この時もあまり大量に土を寄せないようにします。

最後の土寄せは、収穫目標30日位前に行います。この時は思い切って土を多めにかけます。

なお、追肥は1回目と2回目の土寄せの前に、1㎡当たり化成肥料を15g施します。



■ 収 穫

手ごろな大きさになった物をスコップで根を浮かせてから手で抜いて収穫します。

もちろん生育中でも収穫できます。

～ マルチングとは ～

地面を堆肥やビニール、ポリエチレンフィルムで覆(おお)うことを“マルチング”といい、地温の上昇をはかり地面からの水分蒸発を防ぎ雑草を抑止する効果があります。

透明のポリエチレンフィルムは、地温を上げるためトマト、ナス、ピーマンなどの高い温度を好む野菜に有効です。また、黒いゴミ袋を利用すると、雑草をおさえることはできますが、地温は上がりません。

その他に乾燥を防ぐ働きもありますが、ビニールフィルムは高温になりすぎることもありますので、注意しましょう。

7 スイートコーン (イネ科)

スイートコーンはじゃがいも同様、市民農園において人気のある作物です。大変作りやすい野菜ですので、ぜひ栽培してほしい作物の一つです。

■ 畑の準備

1 m²当たり苦土石灰を150g、化成肥料100gを全面施肥し、深く耕します。

■ 種まき

時期は5月中旬～6月中旬です。うね幅75cm、株間30cmで1カ所2～3粒ずつの点まきにします。

■ 管 理

発芽し10cm位になったら1本立ちに間引きします。その時残す株を傷つけないように株元を押さえて、間引く株を横に倒すように抜きます。1ヶ月ほどすると、草丈30cm前後になります。除草をかねて軽くうね間を耕した後、株元に土寄せします。

■ 収 穫

収穫の時期は絹糸(けんし、俗にひげとも言う)が出てから25日前後程度です。

絹糸が少し褐色に枯れ果粒が黄色になり、つぶすとクリーム状になった頃が適期です。

収穫後5～6時間で甘味が落ちてきますので、なるべく早く食べるようにしましょう。

8 ニンジン (セリ科)

ニンジンはカロチンを多く含み、栄養価の高い有色野菜として世界的に広く使われている野菜です。冷涼な気候を好むので、北海道にあった野菜の一つです。

■ 畑の準備

1 m²当たり苦土石灰を150g、化成肥料100gを全面施肥し、よく耕します。

■ 種まき

時期は5月中旬～6月中旬です。

うね幅30cm、株間10cmの間隔で点まきかすじまきにし、ごく薄く(5mm)土をかけます。

また、土が乾燥している場合はなかなか発芽しないので水をたっぷりかけます。

■ 管 理

発芽して株がこみあってきたら、本葉2～3枚の頃と4～5枚の頃の2回に分けて間引きと土寄せをし、1本立ちとします。

■ 収 穫

種まきから3か月ほどすぎると食べられますので、肩の直径の大きなものから収穫しましょう。若いうちは葉もおひたしや天ぷらなどにして食べることができます。

9 ナス（ナス科）

ナスは西洋でも多く作られていますが、日本では古くから食生活に深く入り込み、煮物、焼きナス、揚げ物のほか、漬物などに広く利用されています。

■ 畑の準備

1㎡当たり苦土石灰を150g、化成肥料130gを全面施肥し、よく耕します。

■ 植 え 方

苗づくりには長い日数(80日)がかかるので苗を購入するのがよいでしょう。時期は5月下旬～6月中旬です。うね幅90cm、株間50cmとします。

■ 管 理

風に倒されやすいので、支柱を立ててひもでしばります。

根がつくと、わき芽が盛んに伸び出すので、これらはつみとり、主枝と勢いのよい枝2本を残して3本仕立てとします。4週間後から月に1回、1株当たり化成肥料15gを追肥します。

■ 収 穫

収穫の目安は開花後2週間位がよいでしょう。ほうっておくと大きくなり、皮が硬くなって味も落ちてしまいます。ハサミでへたの先から切って収穫します。収穫始めのころは果実をあまり大きくすると、株が弱まるので早めに収穫するほうがよいでしょう。

10 ピーマン（ナス科）

ピーマンは戦後新しい野菜として急速に普及したものの一つで、油いため、てんぷら、肉づめなど和食、洋食、中華料理の、いずれにもよくあい広く利用されています。

高い気温を好みますが、病害虫の被害は比較的少なく、栽培しやすい野菜です。

■ 畑の準備

1㎡当たり苦土石灰を150g、化成肥料100gを全面施肥し、よく耕します。

■ 植 え 方

時期は5月下旬～6月上旬です。うね間90cm、株間50cmとします。

■ 管 理

支柱は早めに立てます。わき芽は早いうちにつみとり、ナスのように3本仕立てとします。

2週間以降から月に1回、1㎡当たり化成肥料を30g追肥し、そのつど土寄せします。

追肥は、株が大きくなるにつれて株元から離して施してください。

■ 収 穫

株の負担を軽くするため大きくなったものから、早めに収穫します。

11 ホウレン草（アカザ科）

ホウレン草というと、「ポパイ」→「栄養価」と連想する人が多いのではないのでしょうか。

事実、ビタミン類や鉄、カルシウムなどのミネラル分を多く含み、栄養価値の高い緑色野菜として知られています。北海道でも作りやすい野菜です。

■ 畑の準備

1 m²当たり苦土石灰を200～250g、化成肥料150gを全面施肥し、よく耕します。

■ 種まき

4月～8月頃までいつでも種をまくことができますが、夏の暑い時期は発芽が悪かったり病気が発生しやすい傾向にあります。うね幅20cm、株間5～7cmで点まきかすじまきにします。

種をまいた後、1cm程土をかけて軽く押さえつけた後十分に水をかけます。

■ 管 理

本葉が出始めたころ1回目の間引きをします。

2回目は本葉3～4枚になったころに、5～7cmの間隔になるように1本立てとします。

■ 収 穫

品種により差がありますが、春まきで約45日、夏まきでは35日前後で収穫できます。

草丈は25～27cm位の時が収穫適期です。

12 レタス（キク科）

現在、レタスは生食用野菜の代表的存在ですが、日本では戦後昭和30年頃から急激に普及した野菜です。レタスは冷涼な気候を好むので、北海道では作りやすい野菜です。とりたての新鮮な葉が最もおいしいので、家庭菜園でぜひ栽培していただきたい野菜です。

■ 畑の準備

1 m²当たり苦土石灰を200g、化成肥料100gを全面施肥し、よく耕します。

■ 植 え 方

苗には定植前日に十分にかん水しておきます。

うね幅50cm、株間30cmで株元が地表よりやや高めになるように植えます。

■ 管 理

生育初期に畑が乾燥すると、葉の生長が十分行われないので、球のでき始めまでは乾燥しないようにかん水します。球ができ始めたら1 m²当たり、硫酸30gか尿素15gをうね間に追肥します。

■ 収 穫

品種によっても違いますが50～60日で収穫できます。収穫期は球のしまりぐあいで判定します。

球の頭を押さえてみて硬くしまってきたら、株元から包丁で切り取って収穫します。

13 生食用トマト（ナス科）

トマトは栄養に富む代表的な野菜です。そして、トマトほど畑で完熟した新鮮な果実と、市販品との味の差の大きい野菜は他にないでしょう。

市販のトマトは果実の頂部が赤くなり始めた時に収穫され、輸送中や店頭で色づくので、本当の完熟した果実のおいしさを感じられないのですが、家庭菜園ではぜひ真っ赤になってから収穫し、完熟トマトの味を楽しんでください。

■ 畑の準備

1 m²当たり苦土石灰を150g、化成肥料200gを全面施肥し、よく耕します。

■ 植 え 方

苗は葉が7～8枚で大きく、茎が太く、節間の短い花芽のしっかりついたものを選びます。

うね幅90cm、株間45cmとします。支柱（1.8m）を立て、ビニールひもなどでトマトが倒れないように結びつけます。

■ 管 理

生長を始めると次々とわき芽が出てきますので、わき芽は小さいうちに摘み取ります。主となる茎が伸びるにしたがって、支柱にひもで結び付けておきます。

トマトは7～9節に最初の花房をつけ、その後は3葉ごとに花房をつけながら生長します。5番目の花房が出たら、その上2～3葉を残して茎の先端を摘芯します。

葉の色が黄色っぽくなったら1 m²当たり化成肥料を35g追肥します。

■ 収 穫

開花してから50～60日で収穫できます。



～ カッコウとさっぽろまつり ～

農家の人の間では古くから「カッコウが鳴いたら豆をまいても良い」とか「さっぽろまつりまでに豆をまきなさい（＊差し苗をきなさい）」などといわれています。

これは、カッコウの声が聞かれる5月20日頃には、最低気温が10℃以上となり晩霜の心配がなくなり、またさっぽろまつりが行われる6月15日頃までに植えれば、「ものになる（実がなる）」ということで、遅くてもこの頃までには、種まきや定植の仕事に一段落をつけ、おまつりを楽しもうということでしょう。ただ、豆の中でもえんどう豆は寒さに強いので、畑の準備が出来ていれば4月のうちからまくことができます。また、じゃがいもは5月10日から20日を目安に植え付けましょう。

＊差し苗・・・田植えをしてから上手くつかなくて、あとから苗を植えること。



日時：平成16年10月22日（金）

場所：さっぽろテレビ塔

講師：（財）札幌市公園緑化協会 百合が原公園管理事務所長 工藤 敏博

バラの魅力と栽培管理

～札幌で栽培してこそ優位性を発揮するバラ～

1 はじめに

優美な色彩、高貴な姿、そして芳しい香り。最高美の花と讃えられるバラの花。最近のガーデニングブームやイングリッシュガーデン指向もあり、依然としてバラの人気は高いものがあります。

冬の気候が厳しい北国では本州より栽培が難しいと思われがちです。確かに厳しい冬の季節を乗り切るためには耐寒性の強い種類の選択や防寒対策が必要になります。しかし、春から秋のバラの生育期においては、ほとんどのバラが高温多湿を嫌うことから、北国の方がバラを育てるのにふさわしい環境といえるのです。

しかし、他の植物についても同様のことがいえるのですが、バラにおいても入手しやすい種類やその栽培方法は、本州の気候に合わせたものが主流になっています。本来バラに適した北国札幌の気候の優位性を発揮させるためには、札幌に適した種類の選択と栽培方法を的確に行うことが必要になります。

またバラは病害虫に侵されやすい植物であるとの認識が一般的になっていますが、欧米では環境に対する意識の高まりから、今までの農薬漬けのバラ栽培からの脱却が図られています。夏の気候が高温多湿である日本ではかなりの困難さを伴いますが、比較的夏の気候が涼しく乾燥する北国では農薬に頼らない栽培も可能になります。

バラは西洋の花の香りを感じさせ、北海道の洋風な景観に似合います。バラは他に比べようがないほどの変化に富んだ花の形や色、香りがあり、多種多様な系統、品種があります。北国札幌だからこそ最も多様にバラを使いこなせる可能性があるのです。

ここでは、北国札幌で栽培してこそ優位性を発揮できるバラ、栽培方法について焦点を当てて紹介しましょう。

2 原種から現代のバラまでの系譜

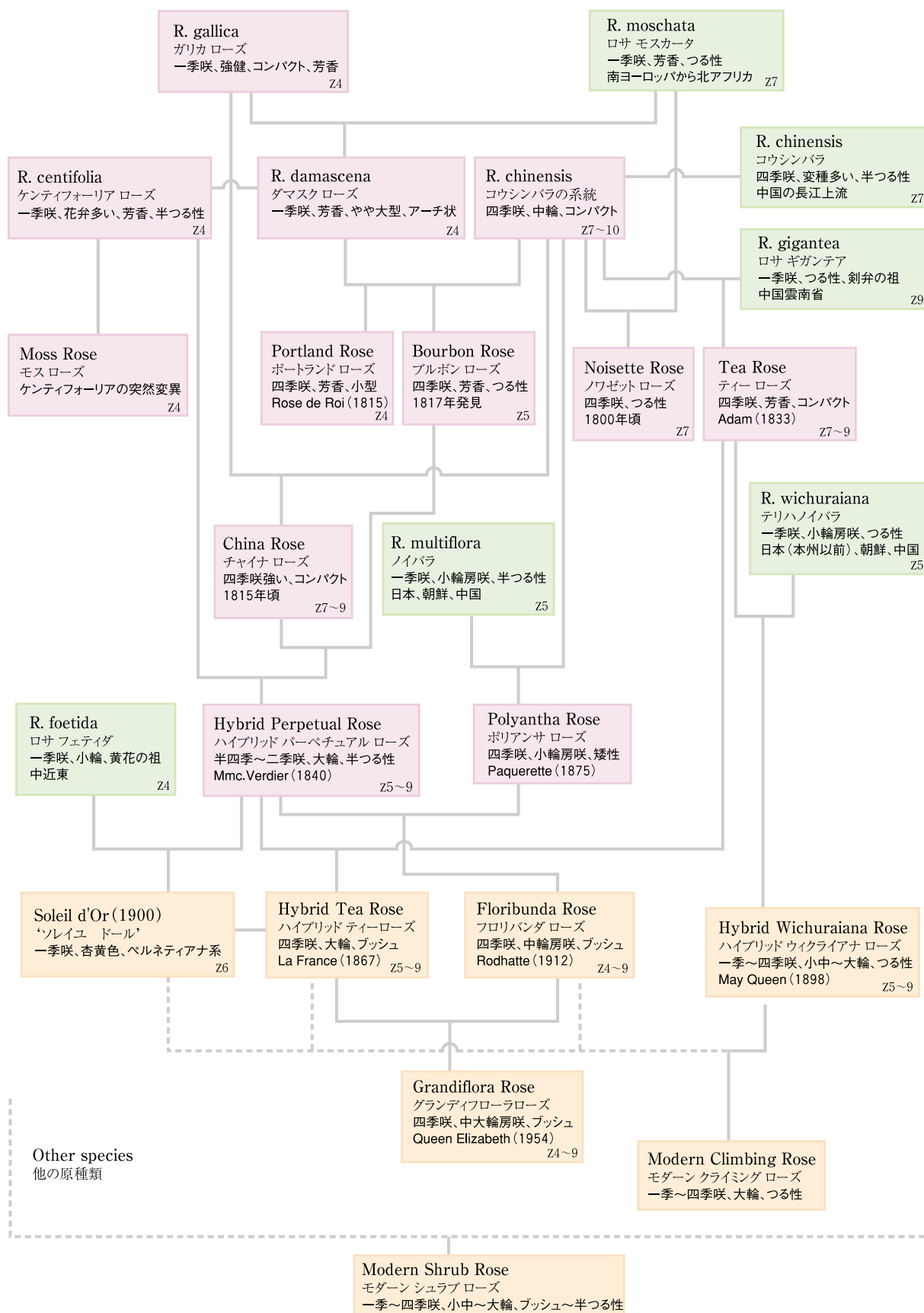
バラの原種は現在約120種とされ、その分布は北半球の温帯を中心とした亜寒帯から亜熱帯で、ニュージーランド、オーストラリア、南アメリカなどの南半球には分布していません。北アフリカからヨーロッパを経て中近東、コーカサス、ヒマラヤから中国、日本、シベリア、及びカナダからメキシコに至る広い地域に分布しています。中国西南部から西アジアに最も多くの原種が分布しており、約85%を占めます。日本にも11種と2～3の変種があります。

原種はモダンローズのような花の豪華さ、大きさ、四季咲き性は期待できませんが、各々その地域の環境にあった形態と性質をもっており、どれも非常に個性的で魅力的なものも多くあります。多くの原種は夏季冷涼な気候を好むことから、用途によっては様々な場面で利用できるでしょう。

バラは有史以前から栽培されていたこともあり、また容易に種間交雑するのと、枝変わりが発生しやすいため、自然状態でも多くの変異が出現し、これに人為的な選抜、交雑が加わって多くの系統が作られてきました。栽培するバラの系統、品種を選択する上で、各種の栽培環境がその栽培地に適性であるか判断することが重要です。

そのためには、その系統、品種の交配の基になった原種の特性を考慮することが重要な要素になります。

野生バラから現代バラまでの系譜





3

現在の園芸品種の基になった原種

前頁系譜にあるように、現在の栽培バラに直接的に関与してきた原種は意外に少なく、主に以下の10種の原種、栽培原種が基礎になっています。

とくに北国のバラ栽培においては、その耐寒性の強弱が生育を左右するため、その基になった原種、栽培原種の耐寒性を知ることが有効です。比較的暖地に分布するコウシンバラの一部と、亜熱帯気候下に分布するロサ・ギガンテアの性質が色濃く影響している系統、品種の栽培には、相当の環境整備、管理が必要になります。

【*R. multiflora* (ロサ ムルティフロラ)】

和名：ノイバラ

分布：日本全土、朝鮮半島、中国

英名：Japanesa Rose, Baby Rose

性状：高さ3～5mになる半ツル性の落葉低木。白色か淡桃色の一重咲き。房咲き。開花期は5～6月で他種より早い。香りよい。耐病性、耐寒性、耐暑性、耐乾性、耐湿性強い。

現代バラに受け継がれた性質：優れた房咲き性、強健な性質。

【*R. chinensis* (ロサ キネンシス)】

和名：コウシンバラ

分布：中国の長江上流地域、四川省。

英名：China Rose, Bengal Rose

性状：高さ1～2mの株立性または半ツル性になる落葉または常緑低木。基本種は淡桃色から濃紅色の一重咲きであるが、多くの変種がある。房咲き。四季咲性。

現代バラに受け継がれた性質：四季咲性。

【*R. gallica* (ロサ ガリカ)】

分布：中・南部ヨーロッパから西アジア。

英名：French Rose, Red Rose

性状：高さ1～2mの直立性の低木。初夏に1花または3～4花を枝先につける。桃色または赤色の一重咲きだが多くの変種がある。芳香があり、フランスでは香料の原料として栽培されている。

現代バラに受け継がれた性質：花の大きさ、華やかさ、香り。

【*R. × alba* (ロサ アルバ)】

交雑：*R. gallica*と*R. arvensis*、あるいは*R. corymbifera*か*R. canina*と*R. × damascena*の自然交雑種と考えられている。

英名：White Rose, White Rose of York, Bonnie Prince Charles Rose, Jacobite Rose

性状：高さ2～2.5mになる半ツル性の低木。白色の半八重咲き。通常は房咲き。やや遅咲き。濃厚な香りがある。

現代バラに受け継がれた性質：花の大きさ、華やかさ、香り。

【*R. × damascena* (ロサ ダマスケナ)】

交雑：*R. gallica*と*R. canina*の自然交雑種、あるいは初夏一季咲きのサマーダマスクは*R. gallica*と*R. phoenicea*の自然交雑種、初夏のほか秋にも咲くオータムダマスクは*R. gallica*と*R. moschata*の自然交雑種と考えられている。

英名：Damask Rose

性状：高さ約2mの直立性。刺と剛毛が密生する。八重で白、桃、赤のほか、紅白まだらの半八重などがある。ブルガリアを中心に香料の原料として栽培されている。

現代バラに受け継がれた性質：花の大きさ、華やかさ、香り。

【R. ×centifolia (ロサ ケンティフォリア)】.....

和名：セイヨウバラ

交雑：R.gallicaとR.×damascena、あるいはR.×albaとオータムダマスク (R.gallica × R.moschata) の自然交雑種と考えられている。

分布：コーカサスで花卉の重ねが少ない野生種が発見されている。

英名：Provence Rose, Cabbage Rose, Holland Rose

性状：高さ1～2mの直立性。花卉の重ねが厚く、ソフトピンクを中心に白から赤までの花色がある。大輪。フランスでは古くから香料の原料として広く栽培されている。

現代バラに受け継がれた性質：花の大きさ、華やかさ、香り。

【R. gigantea (ロサ ギガンテア)】.....

分布：中国西南部、ミャンマー。

性状：ツル性で8～12mに伸びる。常緑か半常緑。クリーム色の一重で弁幅は広いが、終わりに外へ向かって剣弁になる。

【R. moschata (ロサ モスカタ)】.....

分布：西アジア、南東ヨーロッパ、北アフリカ。

英名：Musk Rose

性状：ツル性で3～10mに伸びる。花型はウメやサクラに似た一重、白色。ムスクの香りがあり濃厚。様々なタイプがある。

現代バラに受け継がれた性質：香り。

【R. foetida (ロサ フォエティダ)】.....

分布：イラン、イラク、アフガニスタンなどの中近東。

英名：Austrian Briar, Austrian Yellow Rose

性状：高さ約2mの直立性の低木。基本種は花卉の表裏とも濃黄色の一重咲き。臭いといえるほどの濃厚な香りがある。

現代バラに受け継がれた性質：黄色の花色。

【R. wichraiana (ロサ ヴィキュライアナ)】.....

和名：テリハノイバラ

分布：本州以南の日本、朝鮮半島、中国東部

英名：Memorial Rose

性状：落葉または常緑の低木で、枝は地面を這う。花は白色の一重咲きで、ノイバラよりやや大きい。開花はノイバラよりやや遅い。

現代バラに受け継がれた性質：ツル性。



4

バラの系統

栽培バラは、19世紀にその育種が本格的に始まって以来、作出された品種は20,000品種以上に及び、そのうち2,000～3,000品種が現存しており、さらに毎年200品種程が新たに発表されていると言われています。

現在では系統間の交雑も多いので、系統的に分類することが難しい品種も多くなってきています。各国、各団体において各々独自の分類基準が設けられていますが、最も代表的なバラの選定賞の一つであるオール アメリカン ローズ セレクション (All-America Rose Selections、略称AARS) の分類は次記の通りになっています。

オール アメリカン ローズ セレクションのバラ分類

シュラブローズ

- a. 原種
- b. 原種交雑種
- c. 他のシュラブローズ
- d. オールド シュラブローズ

現代のブッシュ ローズ

- a. ハイブリッド ティー
- b. グランディ フローラ
- c. フロリバンダ
- d. ポリアンサ
- e. ミニチュア

つるバラ

- a. ランブラー ローズ
- b. 大輪つるバラ
- c. つるのハイブリッド ティー
- d. つるのフロリバンダ

日本の各種園芸書、種苗会社のカタログなどでは、日本での栽培普及、入手可能性により以下の6つに分けられて扱われています。

- **ハイブリッド ティー** (略号:HT) …… 四季咲き大輪種。花壇、切り花用。
(グランディ フローラも含まれることが多い)
- **フロリバンダ** (略号:FI) …… 四季咲き中輪房咲き種。花壇、一部切り花用。
- **つるバラ** (略号:CI) …… 四季咲きと一季咲き。大輪～中小輪。花壇用。
- **ミニチュア** (略号:Min) …… 姫バラ。小輪。花壇、鉢花用。
- **修景用バラ** …… 四季咲きと一季咲き。花壇、造園用。
- **オールド ローズ** …… 本来のオールド ローズの他、イングリッシュ ローズ、一部の原種類も含めて扱われる。

今日、日本で一般家庭、公園などに植栽されるバラは、圧倒的にハイブリッド ティーの品種が多く、これにはいくつかの理由が考えられます。

日本では洋花であるバラの栽培の歴史は浅く、江戸時代のいくつかの原種の栽培は別にして、明治、大正期のティー ローズの栽培が出发点になっています。欧米諸国と異なり、様々な系統、形態のバラを栽培することがなかったため、ティー ローズ～ハイブリッド ティーの剣弁高芯咲きの花型のバラが最もバラらしいものと認識が一般化しました。また、ハイブリッド ティーはその育種の過程で四季咲き性、香り、整形の花型を高めてきましたが、反対に耐寒性は低下しました。しかし、本州暖地の気候下では栽培上弱点になることはなく、本来冷涼な気候を好むバラを夏季高温多湿の本州で栽培するには、むしろ数少ない暖地性の原種の血の濃い系統が主流になることは当然と言えるでしょう。

現在札幌でも流通が多いことから、ハイブリッド ティーがいちばん多く植えられています。積雪のある札幌では多少耐寒性が弱いハイブリッド ティーも、適切な栽培管理を行うことにより冬越しが可能です。さらに耐寒性が強い他の系統においては、もっと容易に冬越しが行えます。多くのバラは本州では夏季の高温期に生育を一時休止しますが、北国では夏も弱ることなく生育させることが可能です。このことから北国での栽培の方がより多様なバラを楽しむことができるのです。



5

系統による耐寒性の違い

北国でのバラ栽培においては、厳しい冬をいかにダメージ少なく越させられるかが、翌年の生育、開花、そして何より長年に渡る株の生育を左右します。

基本的にバラは耐寒性の強い植物ですので、寒さにより根まで枯れてしまうことはまずありません。しかし枝枯れの程度が大きいと、各枝の節（前年の葉の付け根）も枯死するため、当然芽数、枝数の少ない状態になってしまいます。バラの生育は葉数の確保が最も重要です。芽数、枝数が少ない株は当然葉数も少なく、良好な生育は望めません。

地上部の枝は、その種類の持つ耐寒力、植え場所の環境、施肥管理等の栽培管理によって、その枝枯れの程度が左右されます。

Zone 1	-46℃以下
Zone 2	-46℃ ～ -40℃
Zone 3	-40℃ ～ -34℃
Zone 4	-34℃ ～ -29℃
Zone 5	-29℃ ～ -23℃
Zone 6	-23℃ ～ -18℃
Zone 7	-18℃ ～ -12℃
Zone 8	-12℃ ～ -7℃
Zone 9	-7℃ ～ -1℃
Zone 10	-1℃ ～ 4℃
Zone 11	4℃以上

植物がそこでの寒さに耐えて生育できるかどうかは、その場所の平均最低気温と、その植物が耐えて正常に育ちうる平均最低気温を比べることで知ることができるといわれています。

植物が寒さに対して露地栽培可能な（特別な防寒設備を施さなくても生き延びる）ゾーンをハーディネスゾーン（Hardiness Zones）と呼び、最低気温の平均値別に右のように分けられています。

北海道と同様、植物の耐寒性を重要視する北米やカナダなどの園芸書ではよく用いられています。

道内各地のゾーンは以下の通りです。

Zone 3	朝日
Zone 4	音威子府、白滝、占冠
Zone 5	旭川、北見、富良野、帯広、岩見沢、滝川、深川
Zone 6	稚内、留萌、紋別、釧路、札幌、小樽、網走
Zone 7	根室、苫小牧、室蘭、函館

現在栽培されるバラの基になった原種と、主な系統別の耐寒度は以下の通りです。

ノイバラ	R.multiflora	Zone 5
コウシンバラ	R.chinensis	Zone 7
口サ ガリカ	R.gallica	Zone 5
口サ アルバ	R. × alba	Zone 4
口サ ダマスケナ	R. × damascena	Zone 4
口サ ケンティフォリア	R. × centifolia	Zone 5
口サ ギガンティア	R.gigantea	Zone 9

これらの中で、札幌の最低気温をZone6とした場合の、それより耐寒性の弱いものはコウシンバラとロサ・ギガンティアが該当し、それからの派生のオールドローズの中のチャイナ・ローズ、ティー・ローズは北国では栽培が不向きな系統になります。さらにそれから交配が進んだモダン・ローズのハイブリッド・ティー系やその枝変わりからの四季咲き性のツルバラなどもこの影響を受けており、その冬の気候、生育状態によっては凍害により枝枯れを起こす可能性があります。

しかし、フロリバンダ、ミニチュア系は、同じコウシンバラを基とする四季咲きのモダンローズでありながら耐寒性の強いノイバラの影響により、ハイブリッド・ティー系より耐寒性が強いものが多くなっています。このように、北海道各地は特にモダンローズにとって微妙な気候帯にあります。Zone5より寒さの厳しい道東や内陸部では、モダンローズの栽培は難しく、耐寒性の強い原種、シュラブローズ、オールドローズは栽培が可能といえます。

ただし、建物や地形、土質などの諸条件、また、その年の積雪量や降霜状況などにより当てはまらない場合もあります。しかし、このハーディネスゾーンは、北国で植物を栽培するにあたり大きな目安となり、知っておくと大変便利でしょう。

6

札幌に適するバラの系統



ホワイト ペット
White Pet

【フロリバンダ ローズ Floribunda Rose (Fl)】

中輪房咲き種。春から霜が降りるまで、花後の剪定によって、ほとんど絶え間なく咲き続ける。品種数が多く、花色、花形も多彩。耐寒性はハイブリッド・ティー系よりも強い。花壇にまとめて植えたり、高性のバラの前に植えたり、生垣を作るのにも適す。



ミス エディス カベール
Miss Edith Cavell

【ポリアンサ ローズ Polyantha Rose (Pol)】

小輪房咲き種。全ての枝に、間断なく花をつける。フロリバンダ系よりもさらに低性で、耐寒性は極めて強い。花壇、生垣、法面にまとめて植栽すると、花で地面が覆われるように見える。日本での栽培は少なく、一部が修景用バラとして利用されている。



ウィリアム バッフィン
William Buffin

【シュラブ ローズ Shrub Rose (S)】

原種、原種間交雑種が主体の灌木状のグループ。花、樹形の形態は様々だが、非常に強健で、やせ地でも育つものが多い。古い品種はほとんどが一季咲だが、新しいタイプのものは四季咲きのものも多い。大きくてこんもりした株張りになり、単植にも、まとめて植えて大胆な効果を出すのにもよい。

【ハイブリッド パーペチュアル ローズ
Hybrid Perpetual Rose (HP)】

大輪種で1～3個の花をまとめてつける。現在ではハイブリッド ティー系に取り替わられて栽培は少ない。しかし、耐寒性、耐病性、芳香性に優れ、オールド ローズとして見直されている。高性で、半つる状に伸びるものも多い。多少繰り返し咲きをする。



ポール リコー
Paul Ricault

【アルバ ローズ Alba Rose (A)】

オールドローズ。中輪の、ピンク系または白色の房咲き種。一季咲き。耐寒性、耐病性が強い。ほとんどがヒヤシンスに似た香りをもっている。実は緋色で大きく長く、観賞できる。直立性で、1.5～2.5mに伸び、よく叢生するので、単植の他、ツルバラ風に誘引もできる。



ケーニギン フォン デンマーク
Konigin von Danemark

【ケンティフォーリア ローズ Centifolia Rose (C)】

オールドローズ。花卉の重なりが多いので、キャベジ ローズと呼ばれる。1～3個の房咲きになる。一季咲き。非常に耐寒性が強い。甘い香りをもっている。伸びた枝にたわわに花をつけるほっそりとした灌木で、半つる性になる。



プティット ドゥ オランダ
Petite de Hollande

【ダマスク ローズ Damask Rose (D)】

オールドローズ。多くはピンク系の花をつけ、非常によい香りを放ち、バラ香油に使われる。耐寒性、耐病性は非常に強い。普通は一季咲きだが、オータム ダマスクとその子孫に当る品種は、秋に返り咲きをする。多くは半つる性。



アダム アルディ
Mme. Hardy

【ガリカ ローズ Gallica Rose (G)】

オールドローズ。花色、花形は豊富で、房咲きになる。一季咲き。耐寒性、耐病性は非常に強い。ほとんどコンパクトな株立ちになる。刺はほとんどなく、暗緑色の葉は、ざらざらした手触りで、秋遅くなるまで残る。オールドローズの中では最も古い。



カマユー
Camaieux



コモン モス
Common Moss

【モス ローズ Moss Rose (M)】

オールドローズ。多くはピンク系で、花弁の多い花の房咲きになる。一季咲き。耐寒性、耐病性が強い。萼片を覆う小さな毛がモス(苔)に似ているので、この名がある。しっかりとした株立ちになるものが多いが、つる性に伸びるものもある。



アメリカン ピラー
American Pillar

【ランブラー ローズ Rambler Rose (R)】

つるバラ。つるバラにはいくつかの系統があるが、ランブラー系は細枝が長くしなやかに伸びる種類。フェンス、アーチ、壁仕立てなど様々な仕立てが可能。多くは小輪房咲きで初夏の一季咲きだが、大輪種より耐寒性が強く、やや日陰地ややせ地でも育つ強健種が多い。



7

バラの栽培管理

バラは薬剤散布や剪定などを必要とすることから、園芸植物の中でも最も手間のかかる植物との印象が根強くあります。しかし、より多様な系統が栽培できる札幌においては、系統、品種を選定することにより、既存のバラ栽培の栽培管理手法に依らずに、管理手間をかけないで、人間や環境に悪影響を与えないバラ栽培が可能になるのです。

1 バラの床づくり

一般には、バラは特別な土壌環境を作らなければ、満足に生育しないと思われています。実際、特別な土壌を作らなくても健全に育つバラは、原種や一部のシュラブローズに限られます。なぜ、バラだけが一種の過保護のような状態で育てなければならないのかというと、とくにモダンローズの交配種の祖先には、耐寒性の弱い温暖地で育つ原種の血が入っているからであり、さらに四季咲性、香り、花型の追求のための育種により、単純に野生の植物として育つ能力がないためなのです。

1 北国でのバラの植え床の特徴

バラは一度植え付けを行えば、永年その場所で生育することになります。さらに四季咲のモダンローズなどは、春から秋までの間に繰り返し開花するため、かなりの養分が必要になることから肥料食いの植物であるといわれています。しかし、バラだけでなく他の植物にも共通していえることですが、北国では本州暖地のように床土に肥料を混入する基肥を多用することは、厳しい冬の季節を乗り越えるには逆にマイナスになる面もあることを意識すべきでしょう。北国と同様に冬の厳しいカナダ、北米、ヨーロッパ北部では、基肥に頼らないバラ栽培が一般的になっています。

② 床つくりの時期

バラに限らず、花壇、植え床の土壌改良は、土壌改良剤の土壌への作用、馴染み、落ち着きなどを考えると、植え付けの数カ月前に作業を行いたいものです。北国では春に植え付けるので、地面が凍りつく直前の秋の終わりに行うのが理想的です。春に行うのであれば、土が乾いたなるべく早い時期に行い、苗はポット植えの状態ですぐ管理しておいて、床土が落ち着いてから植え付けます。

③ 植え場所

できれば以前バラを植えた場所は避けたほうがよいでしょう。野菜の栽培などで問題になる連作障害が、バラにも発生するからです。

④ 植え穴

深さ、幅とも50～60cmとし、上層の土（表土）と下層の土（心土）を別のところに積み上げます。掘り上げた各々の土にピートモスや腐葉土、完熟堆肥などの有機物（単用か、できれば各々の混合）を、土の総量の2割程度よく混ぜ込みます。混合後、今度は表土を穴の底に入れ、その上に心土を戻します。これらの有機物は肥料の役目をするわけではありません。十分に混入することにより、生育中の追肥がよく効き、健全に育てることが可能になるのです。これだけでも十分に生育させることは可能ですが、バラはリン酸分の要求度が高く、また北海道では火山灰土、泥炭土が多いので、有機物と一緒に過リン酸石灰（一穴に40～50g）や熔成燐肥（一穴に300～400g）などのリン酸肥料を混ぜることは効果があるでしょう。

2 バラの苗木

バラの苗木の販売される時期は、その土地の植え付けの時期により違います。北国は早春の園芸店での販売が主体になりますが、本州各府県では苗木の規格によって11～2月と4～6月が販売時期になります。

また、海外からの輸入苗、通信販売の利用も多くなったこともあり、苗の生育度、規格、品質などが多様化しています。

① 苗の種類

バラなどの苗木の生産方法は、種子繁殖と挿し木、接木などの栄養繁殖があります。

バラの苗木の多くは、強健なバラの原種の根を台木として使い、それに苗木とする種類の芽、枝を接いだ接木苗になります。

接木の利点は、生育速度の早さにあります。強健な原種の根の生育を利用して地上部の生育を促進させるのです。現代のバラの育種はこの接木を前提に行われているので、各々の園芸品種は自分の根では生育が弱く、満足に開花しないものも多くあります。接木という人為的な技術を利用してこそ多彩な花が楽しめることから、園芸的に最も改良が進んだ植物の種類であると言えるでしょう。

② 接木苗の規格

全国的には、苗木の生産から一般消費者の手に届くまで、出荷時期、生産の形態により以下の3つに分けられます。

- ① 新苗：1～2月か、前年の9～10月に接木したものが春4～6月に販売される。3.5～4寸のポット植え。一年生苗とも呼ばれる。
- ② 大苗：新苗を春から畑で育成したものを秋に掘り上げて秋から冬にかけて販売される。根巻きと4～5寸ポット植えにしたものがある。2年生大苗とも呼ばれる。
- ③ 鉢苗：新苗と大苗の双方が使われる。通常は5～6寸のポット植え。ポットで生育させながら販売するので一年を通じて販売される。

北国では従来から②が主体で、植付け時期が雪解けを待ってからになるので販売時期を遅らせています。近年③も多く見られるようになってきました。

③ 台木の種類

日本では、本州の厳しい夏の暑さがあるため、夏越しの観点から日本の気候に合ったノイバラを接木の台木として利用しています。しかし、諸外国では各地の気候、土質などに合わせてノイバラ以外の台木が利用されています。

台木の種類	台木として利用している国
ノイバラ (R. multiflora)	日本、南アフリカ、ニュージーランド、オーストラリア、アルゼンチン
ロサ カニナ (R. canina) ロサ ラクサ (R. laxa)	ドイツ、オランダ、英国、 その他の北部ヨーロッパ諸国
ロサ マネッティ (R. manetti)	米国、カナダ
ロサ インディカ ‘マヨール’ (R. indica cv. Major)	フランス、イタリア、イスラエル、アルゼンチン

④ 北国における苗木

接木苗の利点は先に述べた通りですが、寒さの厳しい地方では接木部分が凍害を受けることがあります。このことから北海道同等かそれ以上寒さが厳しい北米やカナダでは、寒さにより地上部が枯死しても根、地際の茎で生存できるように、自根 (Own Root) 苗の需要が高まっています。

自根苗は挿し木により増殖されます。接木苗に比べて苗生産に時間を要し、品質にばらつきが出ますが、台木が原因となる根頭がんしゅ病、ウィルスの心配がなく、オールドローズなどは品種本来の花色、花型が楽しめます。もちろん多くのハイブリッド ティー系などは接木でなければ生育できませんが、冬の厳しい北国でこそ自根苗をより多く利用したいものです。

また近年、輸入苗が多く見られるようになりましたが、この多くはロサ カニナ、ロサ ラクサを台木に使った苗木です。北国ではむしろノイバラよりも気候に適した台木と言えます。機会があれば積極的に利用したいものです。

③ 剪 定

バラの剪定の目的は、古い枝の更新を図ることと、不必要な枝を切って養分の無駄使いを防ぐこと、それにより通風をよくして病害虫の発生を防止することにあります。この本格的な剪定作業は北国では春の1回だけになります。各系統、品種の特性、芽の位置などを見極めながら、じっくりとていねいに行います。この剪定の仕方によってこの一年のバラの生育が決まるといっても過言ではありません。

剪定の時期は、芽がふくらみ始めた時が適期で、札幌では4月中旬～5月上旬頃になります。

最初に凍害を受けた枝を健全な部分まで切り戻します。次に鉛筆よりも太い枝が何本あるか、その太枝の老化の程度を見極めます。弱く細い枝、4年以上たった古い枝を枝元まで切ってしまい、重なり合わない太枝が最低でも3～5本残るのが理想です。太枝が少ない場合は、多少細い枝も残します。

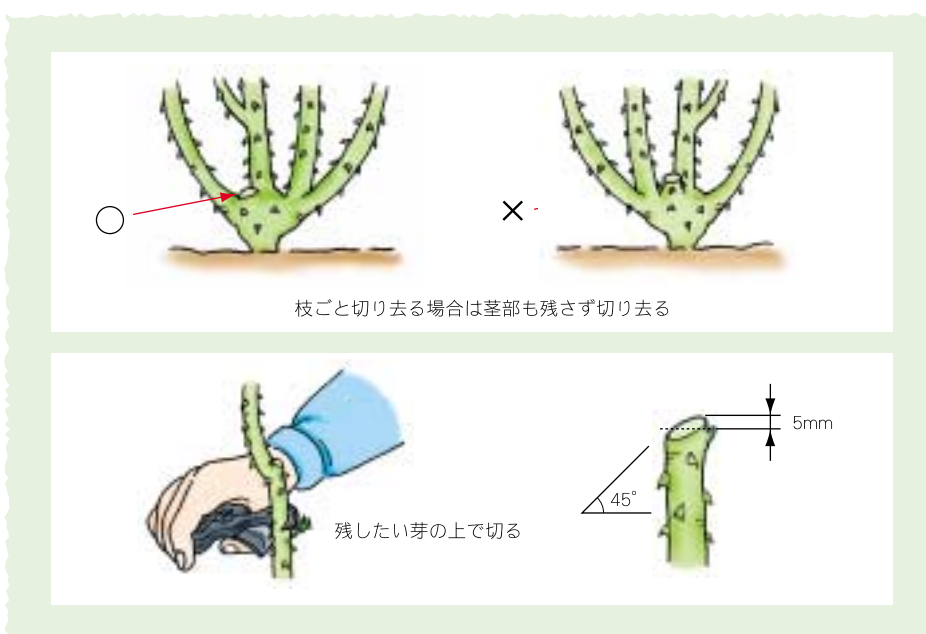
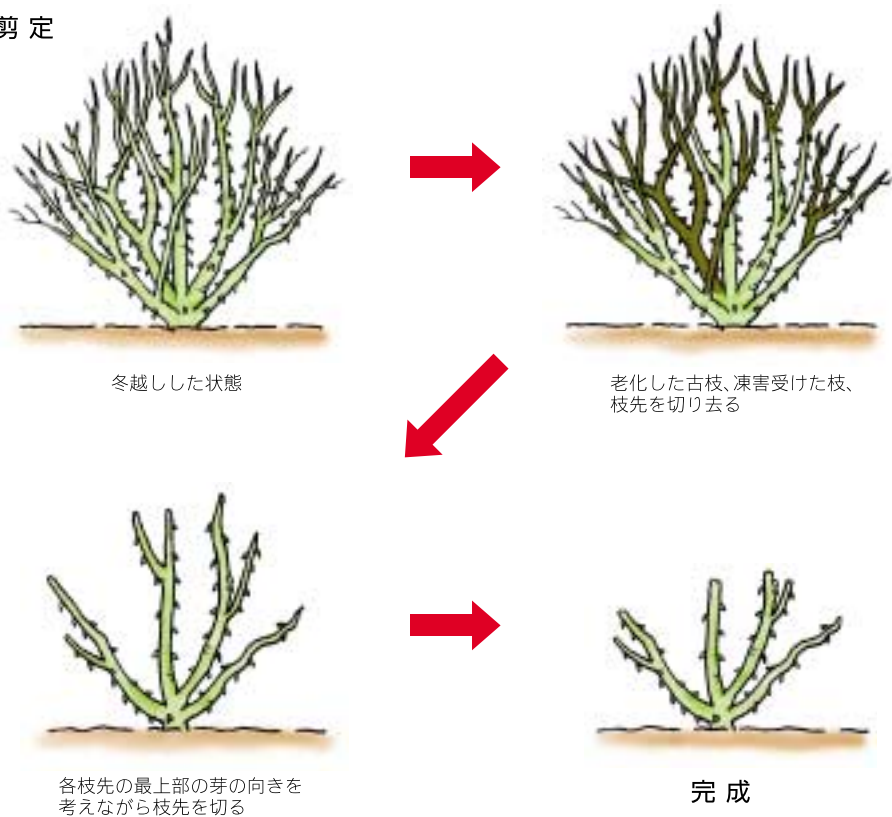
さらに残った枝の高さを調整します。切る位置は、バラの種類や株の生育の状態、栽培している人自身の目的によって異なります。一般には四季咲大輪種のハイブリッド ティー系は普通剪定(枝の1/2程切る)、四季咲房咲種のフロリバンダ系は弱剪定(枝の1/3程切る)、ミニチュア、スタンダード仕立てのものは強剪定(枝の2/3程切る)を行います。昨年の生育があまりよくなかった株や新たに植えた株は、あまり切らないで芽数を確保します。

順調に生育すると残った枝の一番上の芽が最も早く長く伸びて、その先に花をつけます。ですから、通常は他の枝と重ならない外芽の上で切ります。

尚、ツルバラ、原種、一季咲のオールドローズ、シュラブローズなどは、樹形が完成するまでは枯れ枝の剪定程度に留めます。

バラの剪定は難しいと思われる方は多くいますが、あまり剪定の手順に縛られることはないと思います。バラの健全な生育のためには、シーズンを通して健全な葉をいかに多くつけておくかが最も重要になるわけであり、そのために剪定や病虫害防除を行うのです。剪定後に伸びる各枝、生い茂る葉が風通しよく、日光を十分に受けることを念頭に行えばよいでしょう。

剪 定



① バラの開花習性と花後の剪定

バラは一般には、繰り返し咲く花木とされています。しかし、多くの原種類やオールドローズ、シュラブローズなどは、他の多くの花木類と同様に一年に一回しか開花しません。6月上旬の早咲きの原種の開花から始まり、その最盛期は6月中旬～下旬になり、初夏の季節感を感じさせてくれます。

一方、ハイブリッド ティー系、フロリバンダ系などのモダンローズは、四季咲き性の強い原種のコウシンバラ (*R. chinensis*) の影響を強く受けるため、秋遅くまで連続的に開花が続きます。北海道のような寒冷地の屋外で越冬可能な花木で、繰り返し開花するものは他にはなく、この特性は極めて魅力的です。

このように、各系統、品種によって開花回数、時期が違うので、各々の開花の特性を理解した上で、それぞれに適した管理が必要になります。

一般に四季咲き性と呼ばれるモダンローズの北海道での一番花は、6月下旬から7月上旬が開花のピークになります。一番花のシーズンは、北海道ではまだそれほど気温が高くなり、雨も少ない清々しい季節であるため、病害虫の被害も受けず極めて健全に開花してくれます。しかし、次の開花を促すためには、早めに開花した枝を切り去ります。その後気温が高くなるので、次の開花(二番花または夏花)までは早まります。この真夏に咲く二番花は、本州では梅雨、高温のため、株が弱り開花どころではないので、咲かせることはありません。バラの栽培に適した北国の恵まれた気候でのみ享受できるのです。しかし、四季咲き性のバラの最大の魅力は秋花(三番花)です。最も発色、香りが高まります。一～二番花の切り時が遅れてしまうと秋花の開花が遅れ、開花の前に冬が来てしまい、咲かないで終わることもなりかねません。

近年の暖冬化の傾向、その年の夏以降の気温の予想などを考慮して、切り時を見極めたいものです。年によっては夏花を諦めて、秋花に備えることも必要になります。また、そういう年の場合、次の開花までの期間が短い系統、品種であれば、繰り返し咲かせるには有利になります。

月	4月		5月		6月			7月			8月			9月			10月			11月			
旬	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
開 花																							
剪 定																							

④ バラの施肥

バラは「肥料食い」で、他の植物に比べると多量の肥料を必要とするとよく言われます。しかし系統や種類により一様に扱うことはできません。

春から秋まで繰り返し開花するモダンローズは、人為的に行う開花～花摘み～新芽の伸長～開花の繰り返しで、木に貯えた養分が常に取り去られるため養分の補充が必要になります。しかし、一季咲きの原種やオールドローズ、野生種の血の濃いシュラブローズなどの多くは、ライラックやツツジ類などの他の花木と同じ程度の施肥管理で十分に育ちます。

肥料に関しては、どう与えるかも大切ですが、地下水位や排水性等の土壌環境、施肥による耐病性の低下なども考慮して、与え過ぎない心配りも肝要です。

① 北国でのバラの施肥の考え方

本州暖地の気候とは異なる北国では、本州で一般に行われている施肥管理は行えません。養分を盛んに吸収する生育期間を見ても、本州暖地では3月上旬から10月中旬の8ヶ月間程ありますが、北国では4月下旬から9月下旬頃までの5ヶ月程しかありません。

とくに北国では、厳しい冬の季節を乗り切れる株づくりを意識した管理をしなければなりませんが、その中でも施肥管理は非常に重要な要素になります。また、夏も一時休止することなく生育を続ける北国では、施肥時期も本州とは異なったものになります。

このことから北国での施肥に関しての特徴として、耐寒性を低下させないためとくに、秋以降は施肥を控え株を軟弱にさせないで充実を図ることと、本州では梅雨の時期に当たり施肥を中止する6～7月にかけても引き続き施肥を行うことがあげられます。

② 施肥の種類

本州では一般的に施肥の方法として大きく分けて元肥(植え付け時に施す肥料)、寒肥(冬に施す肥料)、追肥(成育期に施す肥料)の3種類が行われています。

北国では耐寒性を低下させない目的から、元肥に頼らない栽培が望まれます。また、寒肥は北国では土の凍結、積雪により行えません。しかし北国ではこれに変わり、雪解け後の芽の伸長前に株元に有機質肥料を混入します。この時は比較的肥効の早い“ぼかし”あるいは“発酵”肥料を使用した方がよいでしょう。

北国ではとくに即効性の追肥が重要になります。そしてそのためには、肥料が適確に吸収できるよう有機質に富んだ土壌環境を維持することが必要です。追肥は粒状の配合肥料や化成肥料が主体になります。とくに顕著に繰り返し咲くフロリバンダ、ミニチュアの系統にはこまめに与え、液肥なども効果的でしょう。

⑤ バラの病害について

バラは一般には、病害虫に冒されやすく、薬剤散布をしなければ健全な生育が維持できないと考えられています。とくに病気の発生については、著しい病害により落葉を招くことから、その後の生育、開花、及び越冬にも影響を与えます。

他の植物と同様に、バラにおいても元来自然界で育つ原種やそれから派生したシュラブローズ等は強健種が多く、とくに耐病性が弱い植物とはいえません。しかし、とくに複雑な育種から生まれたモダンローズ等は、強健な原種を台木に使用したことと、花型、香り、連続開花性の育種にポイントをおかれてきたため、それによって耐病性が低下してきたことは否めません。

近年では、環境や健康に対する意識の高まりと共に、園芸全般についても、過度の薬剤散布に頼らない管理方法の見直しや種類の選択の必要性が高まっています。幸いに北国、北海道では、本州に比べ夏の気温(とくに夜間気温)が低く、長雨も少ないことから、日本の中では最もバラの栽培に適した場所といえるでしょう。恵まれた北国の環境下においてこそ過度の薬剤散布をすることなく、健全に育てられる可能性があるのです。そのためのポイントをいくつかあげます。

- 日当りのよい場所(できれば全日、日光が当たる場所)に植える。
- 風通しのよい、開けた場所に植える。
- 耐寒力を高める管理をし、できるだけ枝枯れをさせない。そのためには適正な剪定を行い、太枝を維持する。
- 枝の更新と土壌の改良をはかり、株を老化させない。
- 施肥は必要量を守り、とくにチッソ過多に気をつける。
- 植え床を清潔に保つ(枯葉、花がらを落とさない、雑草を放置しない)。
- 生育期間中、とくに夏期は頻繁に株を点検し、病気が発生した葉などはこまめに取り去る。とくに雨後は注意する。
- マルチングをして土からの病原菌の跳ね上がりを抑える。

以上のように、基本はいかに健全にバラを育てることができるかということにつきます。

バラは本来、多種多様です。日本で主流となっているモダン ローズ (HT、FI系など) はそのなかの一つの系統にすぎません。欧米においては、様々な系統を場面に応じて使い分け、利用されています。これらとくに原種、シュラブ類は、ほとんど農業に頼ることなく、他の花木と同様に健全に生育します。これらのことから、日本で最もバラに適した北国でこそ、もっと様々な場面で、その場面に適した系統を利用すべきでしょう。

園芸植物の中で長い栽培の歴史のあるバラは、観賞植物として人間の好みに合った改良を重ね、現在に至っています。現在、その育種の一つの目的として、強健性も重視されています。そしてその期待に応える種類が少しずつ発表されてきています。その意味では現在は過渡期にあるといえるでしょう。これから先、強健な種類のバラは、次々作出されることでしょう。私達は今、それらの種類を含め、農業に頼らなくて栽培が可能な種類を選び、その特性を十分発揮できる栽培環境を作ることが求められているといえます。過保護にしないとバラは栽培できないという従来の認識を、そろそろ改める時期にきているのではないのでしょうか。

6 バラの夏越し

バラは多くの原種や園芸品種の基になった原種の自生地的气候から、元来高温多湿の気候には適さない植物と言えるでしょう。本州暖地では、その猛暑にはとても耐えきれず、半ば休眠状態で夏を越すことになります。さらに高い空中湿度により、バラにとって最も被害が大きい黒星病が広がり、ひどい場合には梅雨明けにはほとんどの葉が落葉してしまう株もよく見られます。

しかし、北国では幸いにも日中30℃以上の真夏日であっても夜間の最低気温が25℃以上になる熱帯夜になることはあまりありません。この夜間から明け方の気温の下降が、バラの生育の低下を辛うじて阻止しています。さらに本州ほどの蒸し暑さがなく、病害の発生を少なくしています。

このように本州に比べてバラの栽培にとっては恵まれた気候である北国でも、最も気温が高くなる夏の時期は、バラにとって過酷な時期であることには変わりありません。

四季咲きの種類の最後の秋花の開花のため、さらに翌年以降の生育のためには、この夏の時期に生育を弱らせることなく管理することが重要になります。

① 弱らせないで夏越しさせるための主な注意点

・施肥を控える

高温期には生育を一時休止するので、肥料は与えません。過度に肥料が効いている場合は不必要な蕾やシュートを生み出して、株が軟弱になり病気の発生も多くなってしまいます。お盆が過ぎて涼しくなってから、必要なものには秋花のために速効性の肥料を与えます。

・水やりは午前中早めに行う

暑い日の日中に水やりをすると周囲の湿度が上昇し、病気の発生の原因になります。午前中には葉や周囲の水気が乾いてしまうように、できるだけ早めに行います。早朝に行えるなら葉水も可能です。表土からの跳ね返りによる病気のまん延を予防するため、さらに土壌からの水分蒸発の抑制、地温の上昇の抑制のために、チップ、ワラ、コモなどで地表を覆うマルチングは効果的です。

・風通しを図る

この時期、あまりに茎葉が生い茂って風通しが悪い状態になっていると、高温と蒸れにより各種の病害が発生しやすくなります。各枝に日が当たることを意識して、株中の込み合った細枝などを整理します。

・早めの夏花の処理

四季咲き性のモダンローズなどは、6月下旬から7月上旬に開花した一番花を切った後の二番花(夏花)が8月上旬から中旬に開花します。この時期の開花は気温が高いこともあり、花も小さく、香りも少ない花となります。開花による株の消耗を少なくし見応えのする秋花を楽しむために、早めに花を切り去ります。気温が低下してくると開花までの時間が長くなるので、北国では8月中旬から下旬には枝先の処理を行います。

・病気の早期発見と処置

夏の高温期は年間でいちばんの病気の発生時期になります。前述の各種の処置を行い、病気の発生を抑制します。この時期に病気が広がると次々と落葉し、秋花、翌年の生育に影響を及ぼします。毎日観察して病害に侵された葉、地面に落ちた葉などをこまめに取り去ります。病害が広がっているようなら、該当する殺菌剤を散布します。

7 バラの防寒対策と冬囲いについて

北国でバラを栽培する上で、冬の枝枯れが春からの生育、開花に甚大な影響を与えます。系統による耐寒性の違いについては前述しましたが、植え場所の環境、施肥などの管理によっても冬の被害に違いが出てきます。

自然環境はある程度どうすることもできないことです。しかし、人為的に行うこれらのことは、適切な対応により被害を最小限にとどめることもできますし、栽培地にはやや耐寒性に問題がある種類を健全に栽培させることも可能にすることができるのです。

① 植え場所の環境

耐寒性に問題がある種類は別にして、冬期間の枝枯れは、低温によるものより乾風による被害のほうが大きなものです。雪の中に枝が埋もれてしまえば心配はないので、積雪地帯では根雪前と雪解け後が問題です。この時期の風向き、風道を考えて、冬期間の風当たりの強くない場所が、植え場所の適地になります。

② 越冬を意識した栽培管理

他の花木類などにも共通して言えることですが、冬を迎える前には、厳しい冬を乗り切ることのできる状態にすることが重要になります。北国では秋の訪れが早いので、夏が終わる頃には冬のことを考えて、早めにチッソ分を控えカリ分を与えるようにし、軟弱な生育を抑制します。

シュートはもとより次々に伸びる枝も、枝先を切り詰めて枝の充実を図ります。枝先を切り詰めてからその枝が充実するには、ある程度の期間が必要になるので早めに処理をします。

③ 冬囲い

北国で庭植えにする花木の中で、バラほど人によって様々なやり方で冬囲いされているものはないでしょう。また同じ方法で行ってもその年によつての被害の程度も異なります。

その理由として以下の点があげられます。

- 系統、種類によつて耐寒性が異なる。
- 多くのバラにとり北海道は、冬の被害を受ける、受けないの境界線上の気候帯である。
 - その地域の積雪量などによつて越冬の度合いが異なる。
 - 風当たり、土壌環境、生育状況などの微妙な要因が影響を与える。
- 同じ種類であっても越冬前の株の生育状態が越冬を左右する。

このように様々な要因を考慮して対策を講じる必要があります。また、そのバラを寒さから保護するのか、積雪による枝折れから保護するのか、風から守るのか、これらのどの目的で冬囲いを行うかを明確にして、各々の目的に合った対策をします。

〈冬囲いの方法〉

・寒さからの保護

その地域での栽培には耐寒性に問題があり、枝や根が凍害を受ける場合があります。多くの場合は、その地域、植え場所の積雪量が大きな要因になります。積雪は保温効果があり、雪に覆われた枝や根は安全と言えます。

積雪が少ない地域での栽培や、積雪があつても耐寒性が弱く枝が凍害を受けるモッコウバラなどの一部の原種類、ティー系の種類などは、寒さからの保護が必要になります。

株ごと掘り上げてム口や室内の冷温所に取り込むのが安全と言えますが、積雪地域では株の片側の地面を掘り、その場に株を横倒しすることがよく行われています。いずれにしても、毎年の株倒し、掘上げは株の老化を進めることにもなりますので、このような保護を必要とする地域、種類は、コンテナ栽培にして、冬季間のみ鉢ごと雪の中に入れるか、入室することも有効な手段になります。

・積雪からの保護

耐寒性には問題がなくても、積雪の多い地域では雪による枝折れや株倒れを防ぐ保護が必要になります。横に伸びた各枝を結束～株周りに根曲がり竹を株の大きさに合わせて3～6本等間隔に地面に差し込み～縄で巻き上げの一般的な冬囲いを行います。要所を押さえて見かけがシンプルな方が丈夫で見た目もきれいになります。

枝が横に伸びる原種、シュラブ類の中には、無理に枝を上げて結束、冬囲いをするより、そのままの状態で枝を雪の下で越冬させた方が枝折れの回避できる種類も多くあります。

・風からの保護

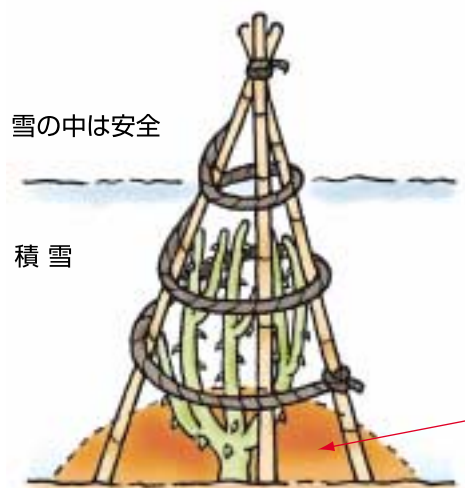
耐寒性は強いものの、種類、生育によつては冬の寒風によつて枝枯れを引き起こし、翌年からの生育に大きな影響を与えます。

通常は前述の根曲がり竹、縄を使った冬囲いを行ってから、さらにその上からムシロや寒冷紗を巻きます。あまりに風が強い所ではビニールシートで覆うのも効果的でしょう。尚、寒さの厳しい地域では、ムシロの保温効果はほとんど期待出来なく、このような寒風からの保護が目的になります。

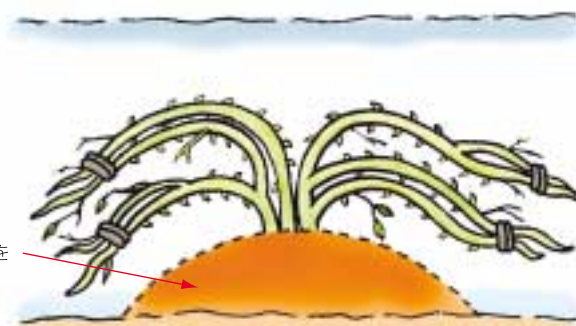
耐寒性があまり強くない四季咲き性のツルバラは、伸びたツルだけをはずして地面に下ろします。ただし大株になるとこの作業は困難になるので、毎年剪定で株の大きさを制限するか、前述の保護材料で株ごと覆い、そのまま被害を受けないような工夫が必要になります。

雪の中は安全

積雪



枝がしなるシュラブ系はそのままの状態ですべて雪の下にする
(耐寒性の弱いツルバラも同様に)



株元に土や
落ち葉などを
寄せておく

積雪



雪から出る部分を
むしろ、寒冷紗、
ビニールなどで覆う

常時雪の下になる
部分は空けておく



緑の相談



「咲き終わった花の手入れはどうしたらいいの?」「肥料はいつ何をやればいいのか?」といったご相談はありますか。こうした園芸に関するさまざまなご相談に、専門知識を持ち経験豊かな「緑の相談員」がていねいにお答えします。

直接お越しになるか、お電話でもご相談をお受けしています。

百合が原緑のセンター

北区百合が原公園210番地

■開館時間

午前8時45分から午後5時15分まで

■休館日

毎週月曜日(月曜日が休日の場合は翌日)
12月29日から翌年1月3日まで

緑の相談

●相談日・時間

毎週水、木、土、日曜日
午前10時から午後4時まで
(正午から午後1時まで休み)

☎ (011) 772-3511

■温室観覧料

大人(高校生以上) 130円
中学生以下・65歳以上 無 料
(敬老手帳などをご提示ください)

豊平公園緑のセンター

豊平区豊平5条13丁目

■開館時間

午前8時45分から午後5時15分まで

■休館日

毎週月曜日(月曜日が休日の場合は翌日)
12月29日から翌年1月3日まで

緑の相談

●相談日・時間

休館日を除く毎日
午前10時から午後4時まで
(正午から午後1時まで休み)

☎ (011) 811-9370

平岡樹芸センター

清田区平岡4条3丁目1-1

■開館時間

午前8時45分から午後5時15分まで

■休館日

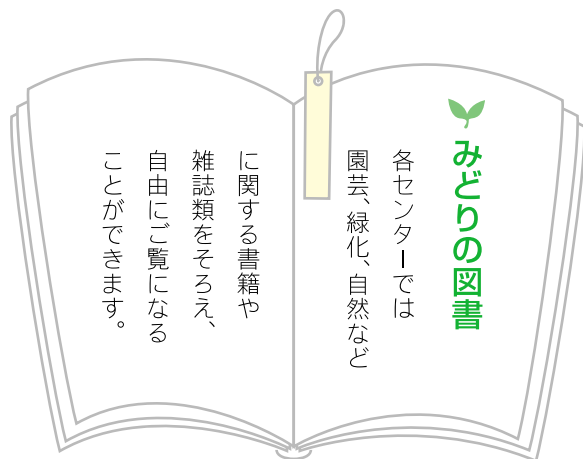
毎週月曜日(月曜日が休日の場合は翌日)
11月4日から翌年4月28日まで

緑の相談

●相談日・時間

4月29日から11月3日の間の
毎週水、木、土、日曜日
午前10時から午後4時まで
(正午から午後1時まで休み)

☎ (011) 883-2891



札幌市都市緑化基金

緑あふれる街づくりのため
札幌市都市緑化基金の募金に
ご協力をお願いします

都市の緑は、私たちの生活に四季折々の季節感や心のゆとり、やすらぎ、うるおいなど、かけがえのない充足感を与えてくれます。

札幌市は、道路、公園などの公共施設の緑化をはじめ、市民の方々の協力を得ながら地域の緑化に努めて、現在、全国でも屈指の緑豊かな街になりつつあります。

しかし、街全体が緑と花と木陰に包まれた「ゆとりとうるおいのある街」を実現するためには、公園などの公共施設の緑だけではなく、個人の住宅や事業所の周辺など民有地の緑化が不可欠です。

札幌市都市緑化基金は、市民の皆様から寄附をいただいたお金を積み立て、その果実(利子)で民有地の緑化を進めていこうとするものです。

私たちの街札幌を次代の市民に誇れるより緑豊かな魅力ある街にするため、「札幌市都市緑化基金」の積み立てに、市民の皆様の暖かいご協力を賜りますようお願い申し上げます。



都市緑化基金は

このような事業を実施しています

1 記念樹プレゼント

札幌市民を対象に、結婚、出産、新築などの人生の節目を記念する慶事に対して、ライラック、ツツジ、ウメなど10種類ほどのの中から希望の苗木をプレゼントしています。

応募は往復はがきで。返信用はがきが引換券となります。

「広報さっぽろ」などでお知らせします。



2 ツタの補助

対象：市内の住宅、事業所等の壁面、法面など。

補助数：植え込み予定の50%（最大15本まで）

申し込み：春秋の年2回。「広報さっぽろ」でお知らせします。





3

フラワーポットの貸し出し

対 象：市内の町内会、自治会、商店街などの民間団体

個 数：1団体あたり30個以上100個まで

規 格：70cm×24cm×20cm

期 間：3年間継続して設置してください。

貸し出しの初年度のみ、培養土と花苗を1ポットあたり5株提供しますが、次年度以降は、利用団体において用意してください。

申し込み：年1回春のみ

「広報さっぽろ」などでお知らせします。



その他の事業



コンテナツリーの設置



フラワースタンドの設置



緑化の講習会



すくすくみどりの発行



緑の絵コンクール



緑と花のフォトコンテスト



緑化パネルの展示



緑化イベントへの協力

都市緑化基金の募金にご協力を



この冊子も皆様からいただいた募金の果実(利子)で作成しています

募金箱設置場所

百合が原公園・豊平公園・厚別公園・農試公園・川下公園・前田森林公園・手稲稲積公園・平岡公園
モエレ沼公園・豊平川さけ科学館・サッポロさとらんど・各区役所・札幌市環境局みどりの推進部・札幌第一ホテル

基金に関するお問い合わせは

札幌市環境局みどりの推進部みどりの推進課

〒060-0051 札幌市中央区南1条東1丁目 大通バスセンタービル1号館6階

電話 011-211-2522

財団法人札幌市公園緑化協会

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目6番地16 ニューワンビル4階

電話 011-211-2579





編集・発行

財団法人 札幌市公園緑化協会

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目6番地16 ニューワンビル4階

電話 011-211-2579

<http://www.sapporo-park.or.jp/>

すくすくみどりは、財団ホームページからダウンロードできます。



この冊子は、緑と地球環境保護のため古紙100%の再生紙と大豆インキを使用しています。